

2023（令和5）年度

弘前学院大学

「学修行動・学修成果アンケート調査」

実施結果報告書

まえがき

大学生を取り巻く環境は、現在急激に変化しつつある。学生生活、大学生生活のあり方もそれにつれて大きく変化してきている。

こうした状況において、学生たちの学修行動や、学修の成果にはどのような変化が生まれているのであろうか。学生に対する支援のあり方をどのように進めて行くか、その方向性を探るためにも、学修行動の実態や学修成果の状況を定期的に把握していかなければならない。

大学教育の質の保証について、その充実・向上、点検・検証、それらを踏まえた改善というサイクルが求められており、本学でも全学的教学マネジメント体制を整備しつつ、教育の質保証に係る評価の一環として、昨年度に引き続き、学士課程教育の検証を目的として、学生の成長実感、満足度に焦点を当て、初年次教育、教養教育、専門教育の成果・効果を測るために、あわせてその支援体制としての学修環境・学生生活に関する意見を求めた。

こうして、本学の教育の有効性を検証するとともに、外部への説明責任を果たすべく、昨年にも引き続き、その結果を公表するものである。

目次

I 「学修行動・学修成果アンケート調査」実施要項 (1)

II 実施結果 (3)

III 学修行動・学修成果アンケート質問一覧 (33)

I 「学修行動・学修成果アンケート調査」実施要項

弘前学院大学FD委員会

はじめに

「弘前学院大学教育推進会議」規程第3条及び「大学FD委員会」規程第5条に基づき、本学の教育の質保証に係る評価の一環として、全学学生の学修に関する調査を実施する。

1. 目的

弘前学院大学の教育の質保証について、本学の学士課程教育の有効性の検証を行うべく、本学学生における学修行動、学修成果に関して、学生の意識、行動、学修充実度等の調査・分析の実施、および点検・評価を行い、その結果を踏まえて、教育課程・教育方法・教育内容等の改善、充実に資することを目的とする。

2. 調査内容

A 学修行動

1. 授業以外の諸活動（部活、ボランティア活動、アルバイト）

2. 勉学状況

登校・出席状況、受講時間、授業への関心度、授業の難易度、

授業への取組、事前事後学修・関連学修、

授業以外の学修行動（読書、新聞、定期的購読誌等、インターネット使用、ゲーム等）

B 学修成果

1. 教育理念（建学精神）、2つのポリシー

2. 外国語能力

3. ICTリテラシー

4. 教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキル

5. 総合的な力

○自己の資質、能力の変化、向上

○表現する力の変化、向上

○他者と協働する力の変化、向上

C その他—大学満足度

自由記述—弘前学院大学に対する要望

3. 設問内容

資料：「学修行動・学修成果アンケート質問一覧」参照

4. 調査主体

大学FD委員会、IR室。

5. 調査時期

回収率及び調査の精度を上げるため、以下のように実施する。

①調査学年1年生～3年生について

新年度（すなわち新2年生～新4年生）の在学生オリエンテーション時
…2024（令和6）年4月2日（火）に実施。

②調査学年4年生について

学位記授与式の前日の予行日（リハーサル時）
…2024（令和6）年3月15日（金）に実施。

6. 調査方法

Microsoft Forms を使用して学生の回答を回収する。

7. 調査対象者（卒業予定者数、回収数、回収率）

弘前学院大学の全学部全学年学生

8. 実施体制

大学FD委員会及び各学部FD委員会。

II 実施結果

問1 所属について

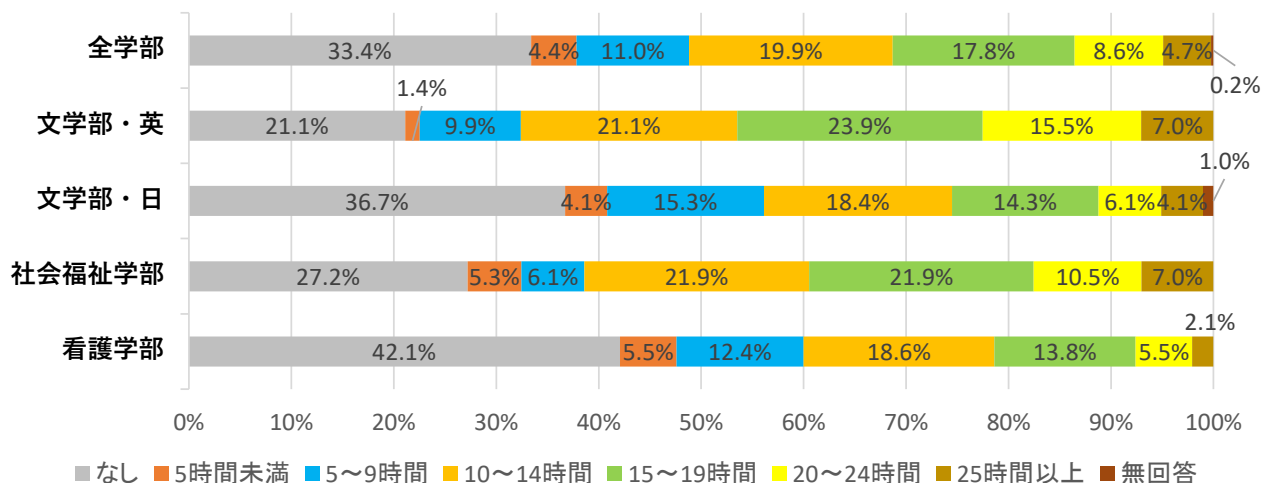
学部	学科（コース）	学生数
文学部	英語・英米文学科	98人
	日本語・日本文学科	71人
社会福祉学部	社会福祉実践コース	95人
	人間科学コース	19人
看護学部	看護学科	145人
		合計 428人

問2 居住形態について

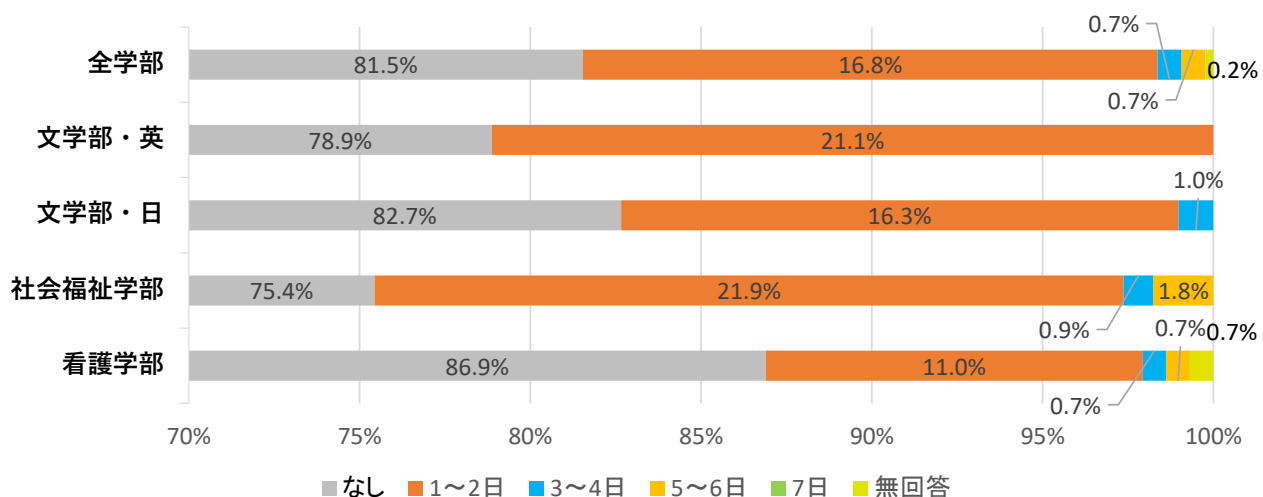
学部/居住形態	自宅	下宿	アパート
文学部	134人(45.9%)	5人(35.7%)	30人(24.6%)
社会福祉学部	77人(26.4%)	4人(28.6%)	33人(27%)
看護学部	81人(27.7%)	5人(35.7%)	59人(48.4%)
大学全体(428人)	292人(68.2%)	14人(3.3%)	122人(28.5%)

無回答 0人

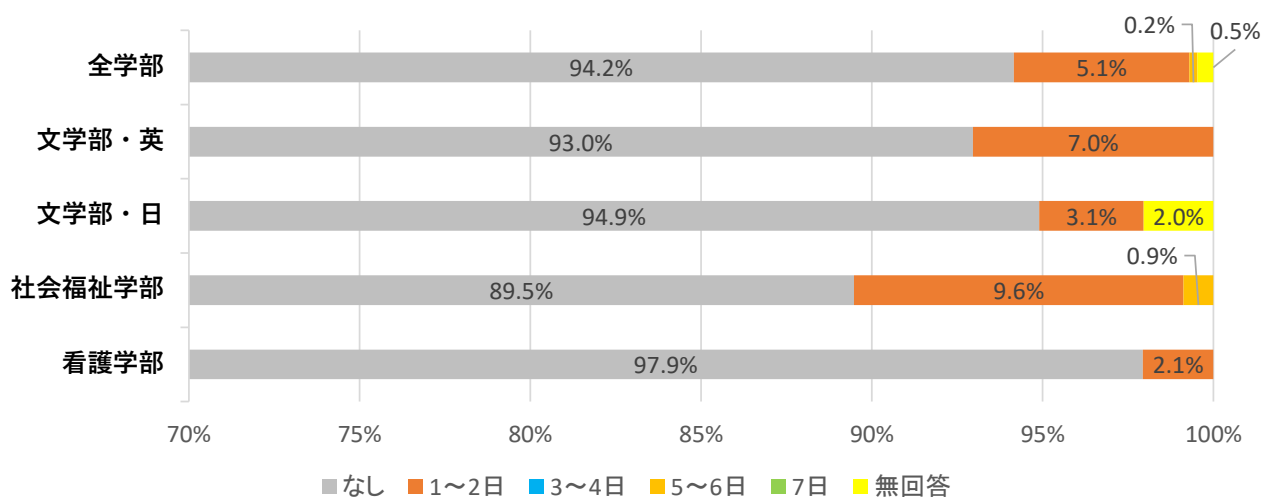
問3 【授業以外の諸活動】アルバイト(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。



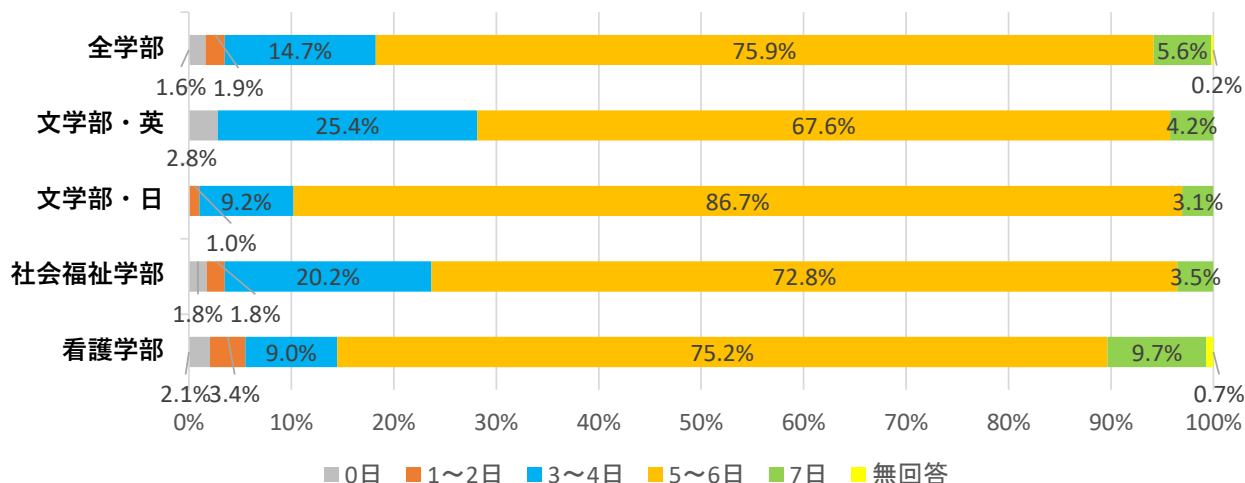
問4 部活、サークル活動(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。



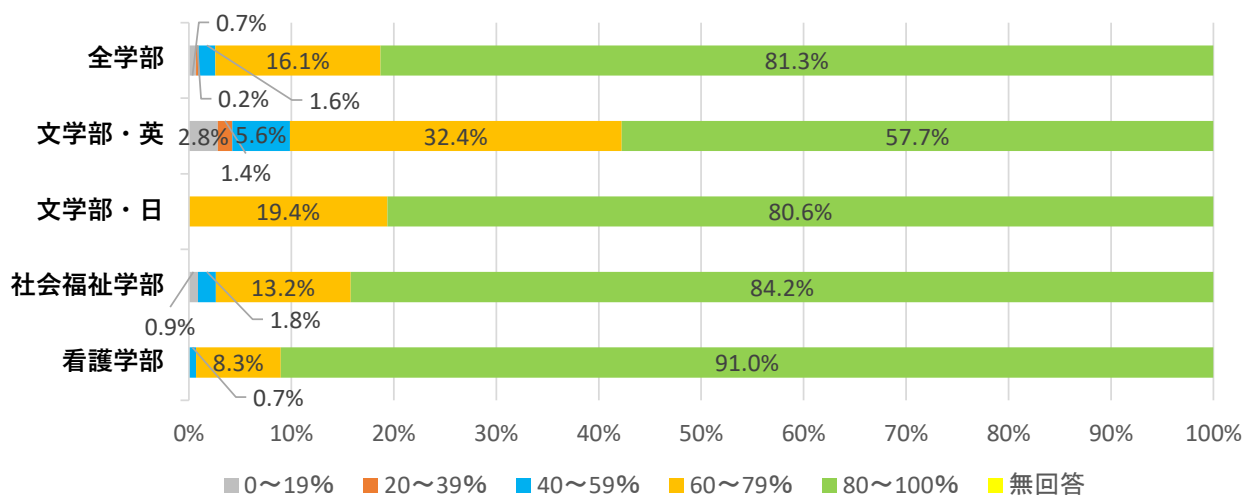
問5 ボランティア活動(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。



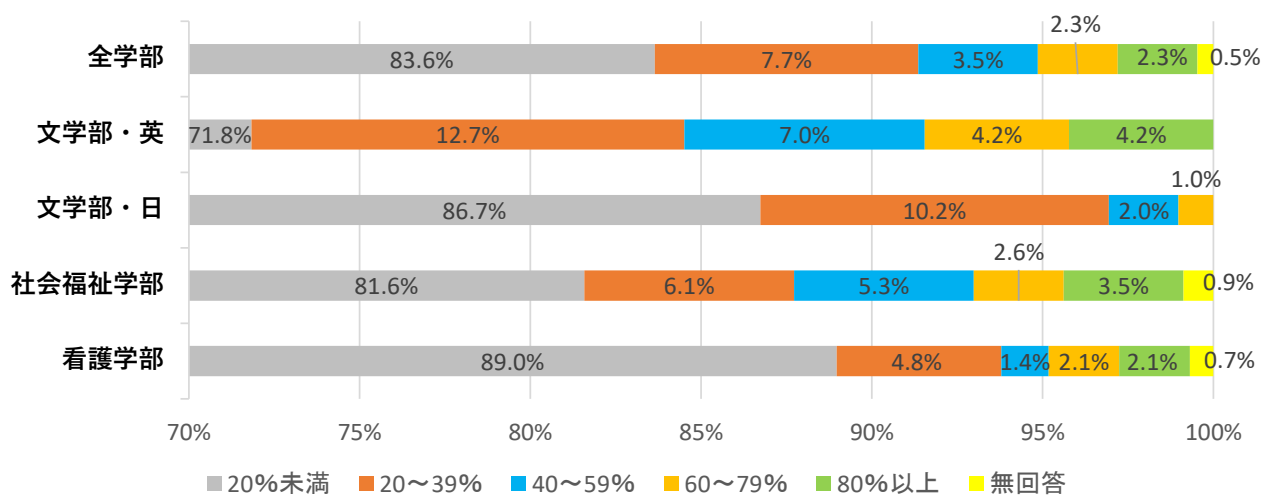
問6 【登校・出席状況、平均的な1週間における大学での学修】大学に何日登校しましたか。



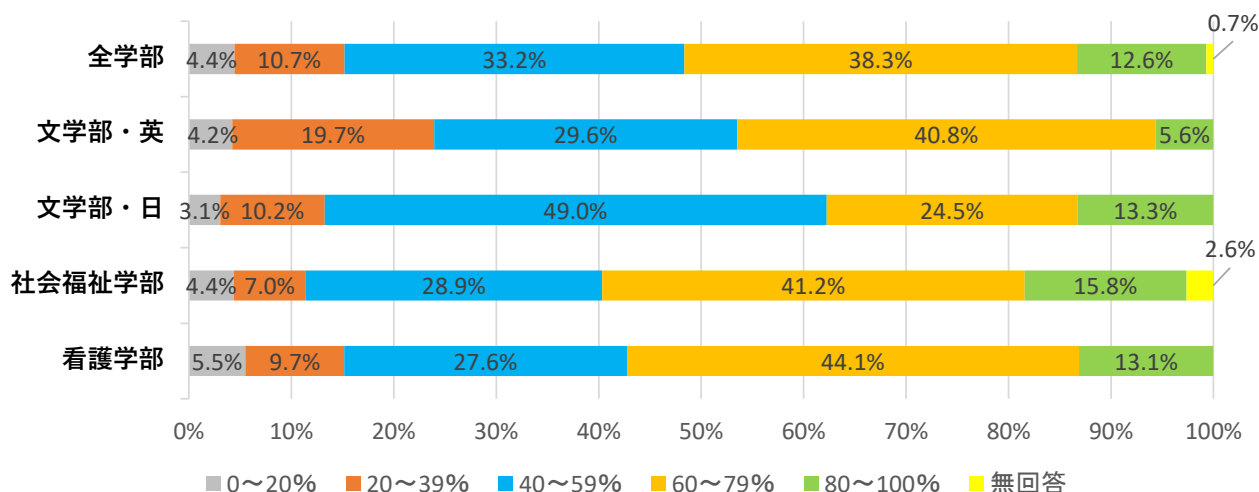
問7 授業に出席した割合はどのくらいですか。



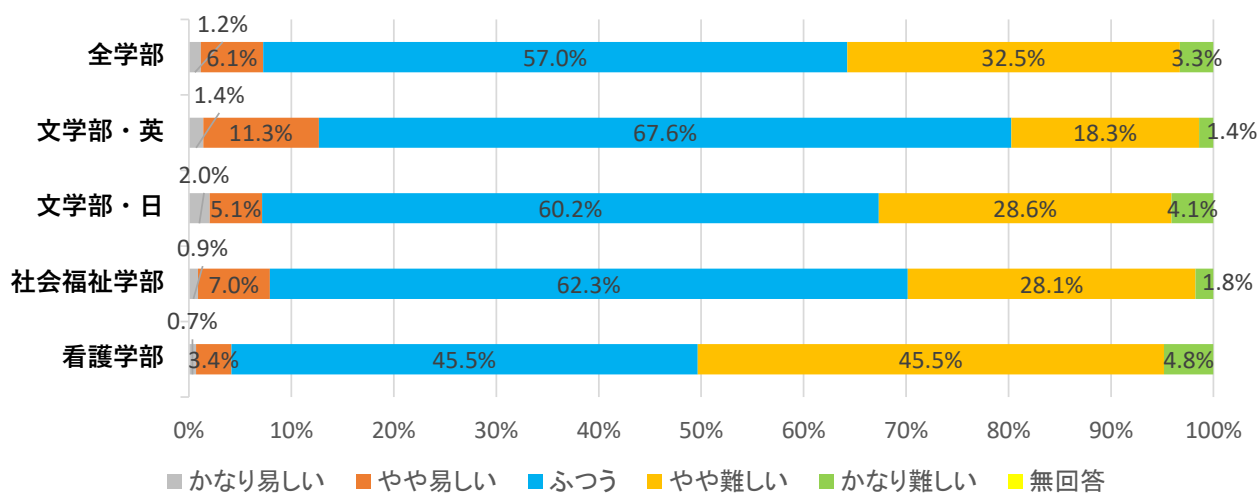
問8 しかるべき理由がなく欠席した授業は、どのくらいありますか。



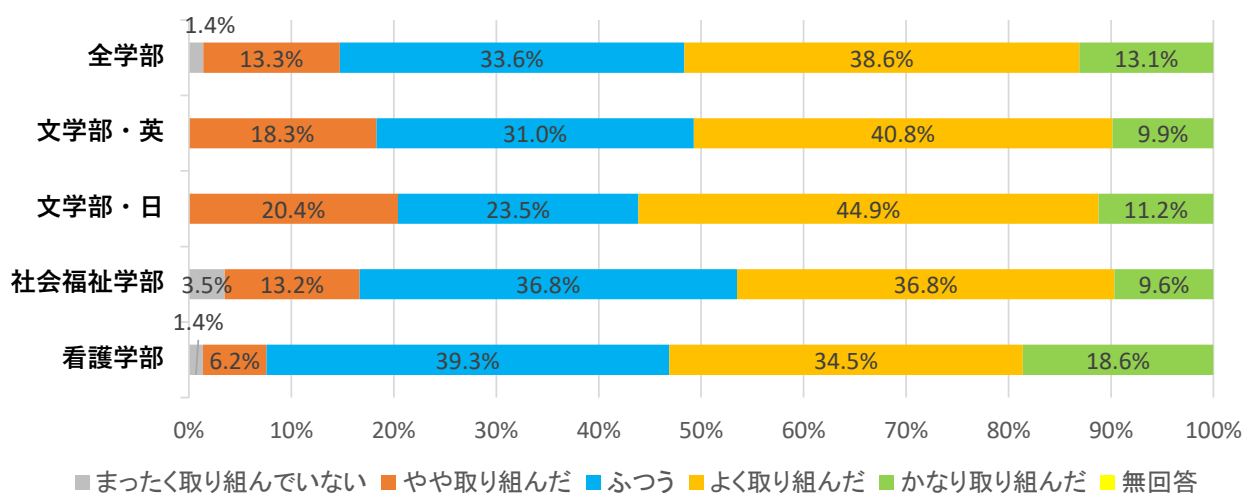
問9 興味・関心のある授業はどのくらいありますか。



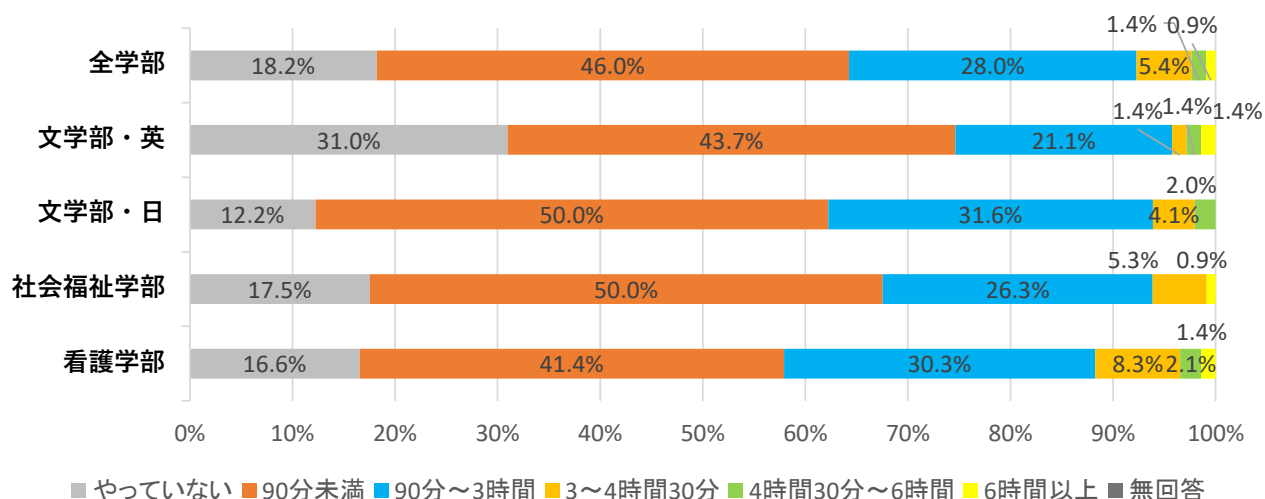
問10 授業の難易度について、総体的にどのように感じていますか。



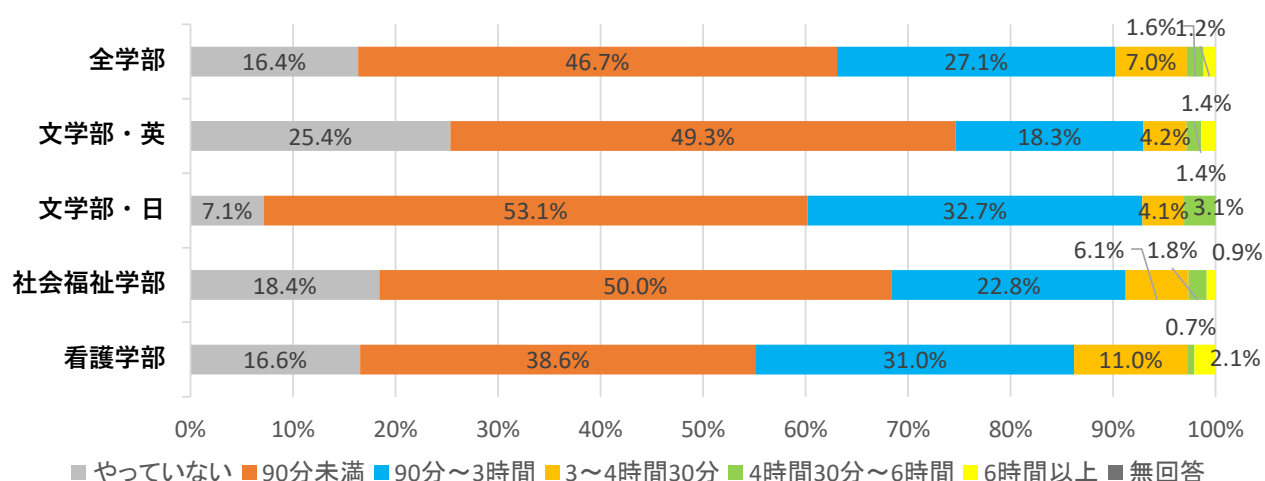
問11 授業に対して、積極的に取り組みましたか。



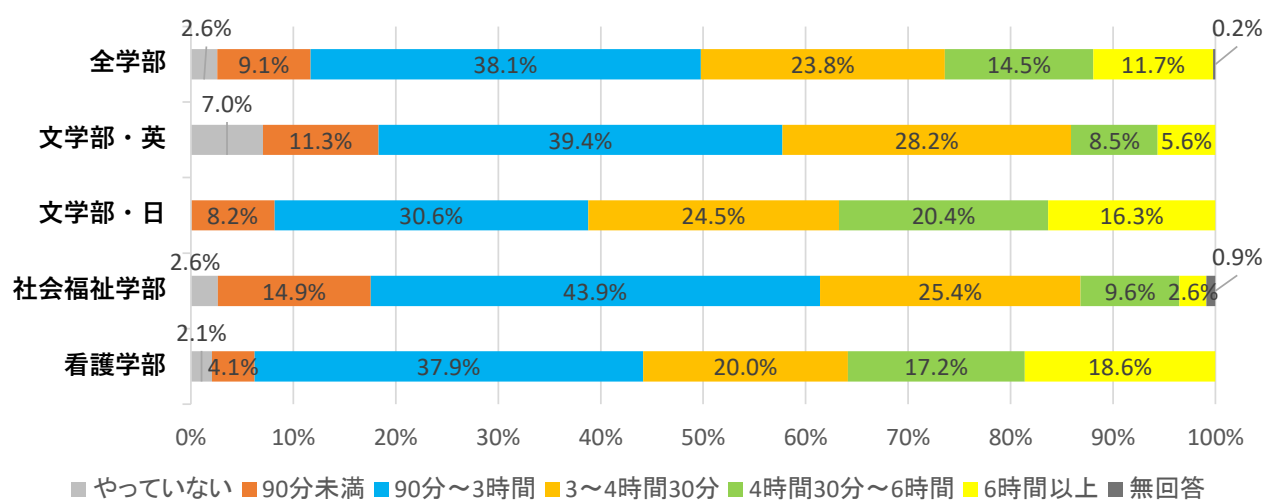
問12 授業の予習を、自発的に、1週間でどのくらいやりましたか。



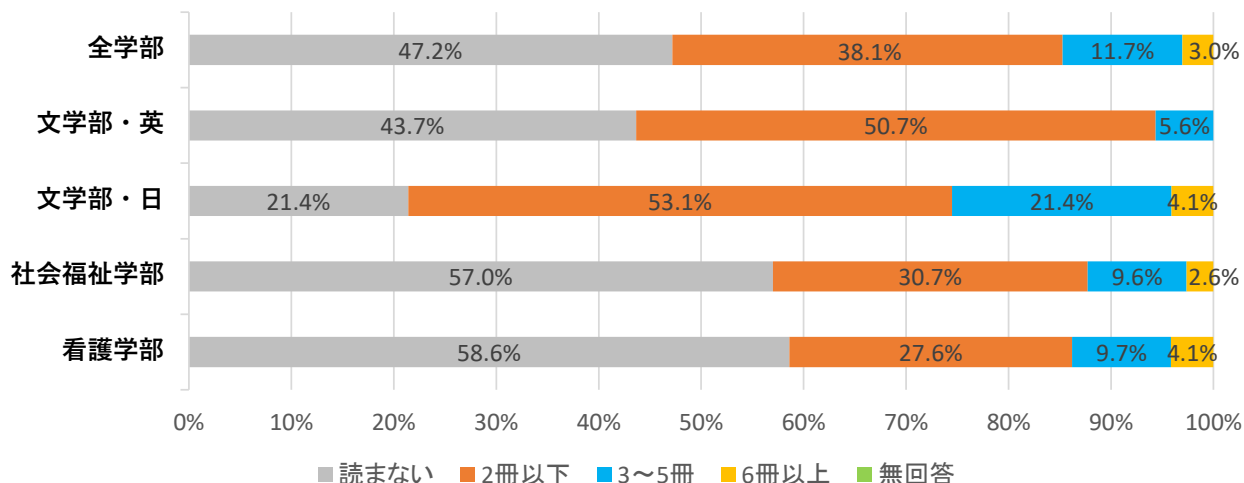
問13 授業の復習を、自発的に、1週間でどのくらいやりましたか。



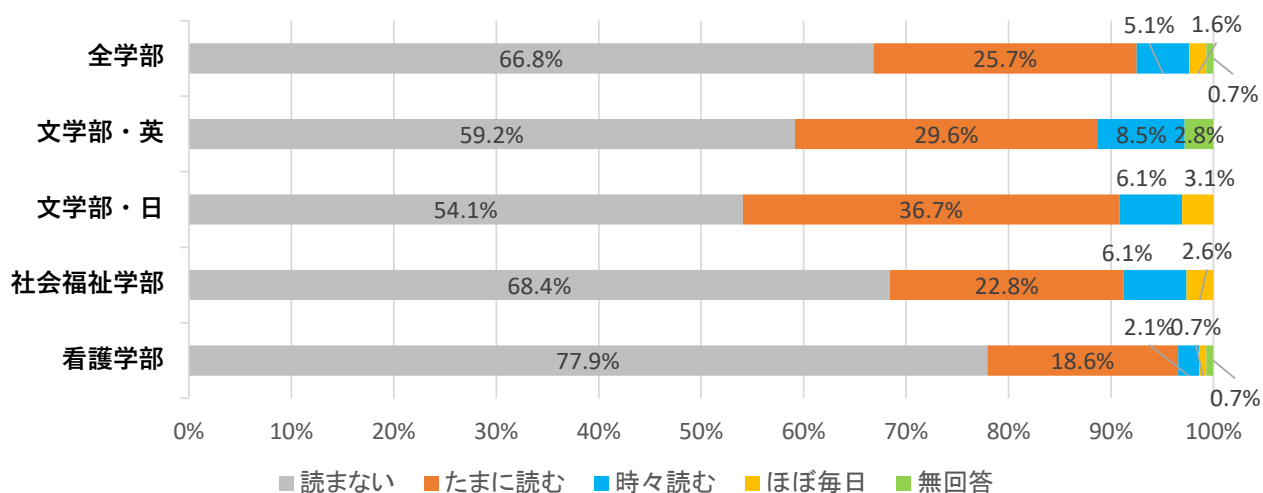
問14 授業で、教員に指示された発表の準備、レポートや課題に費やした時間は、1週間でどのくらいですか。



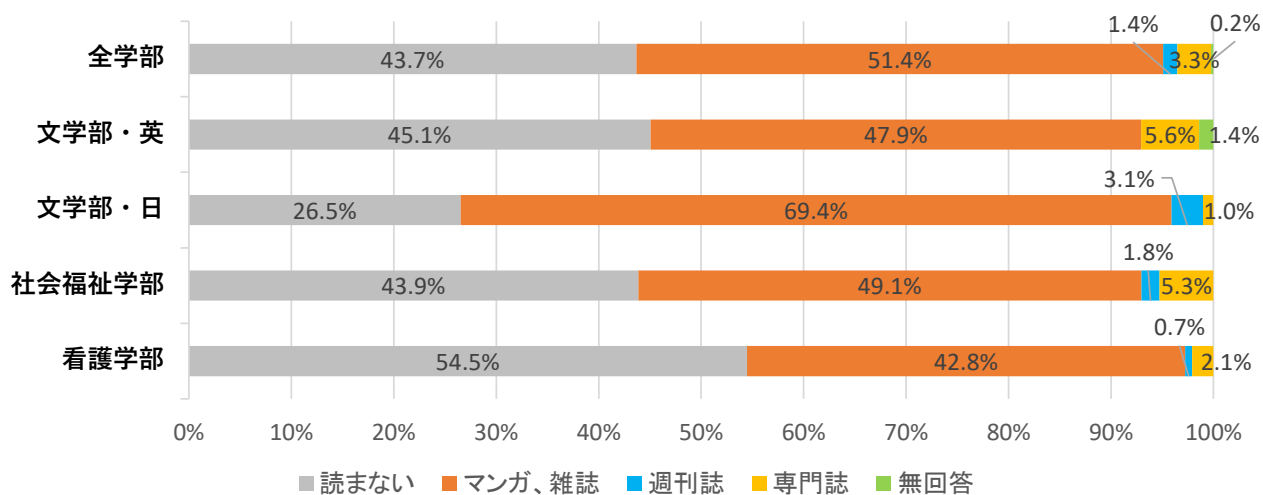
問15 【授業以外の学修行動、ふだんの行動】本を、月にどのくらい読んでいますか。



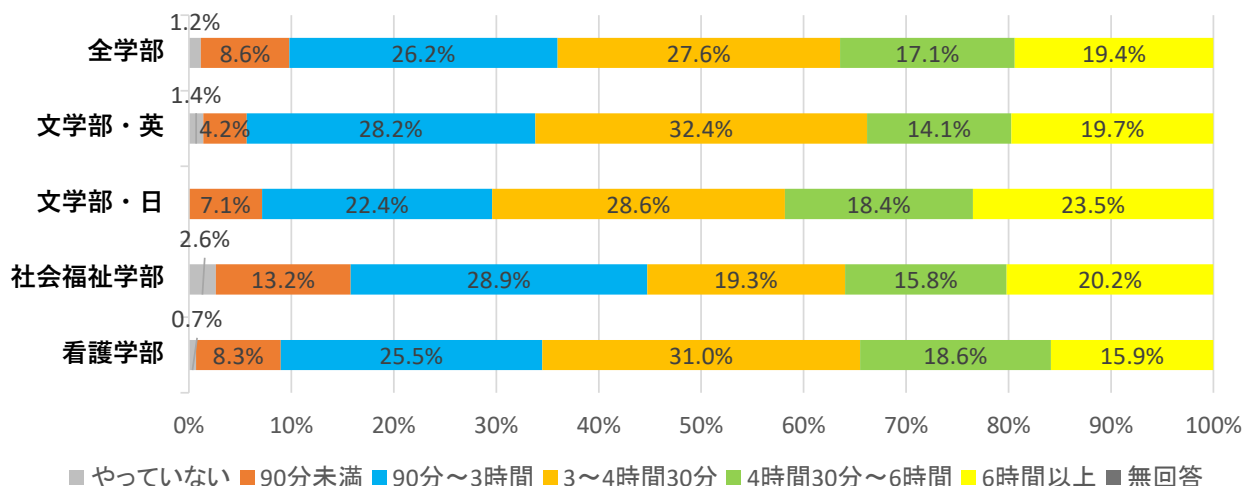
問16 新聞を読んでいますか。



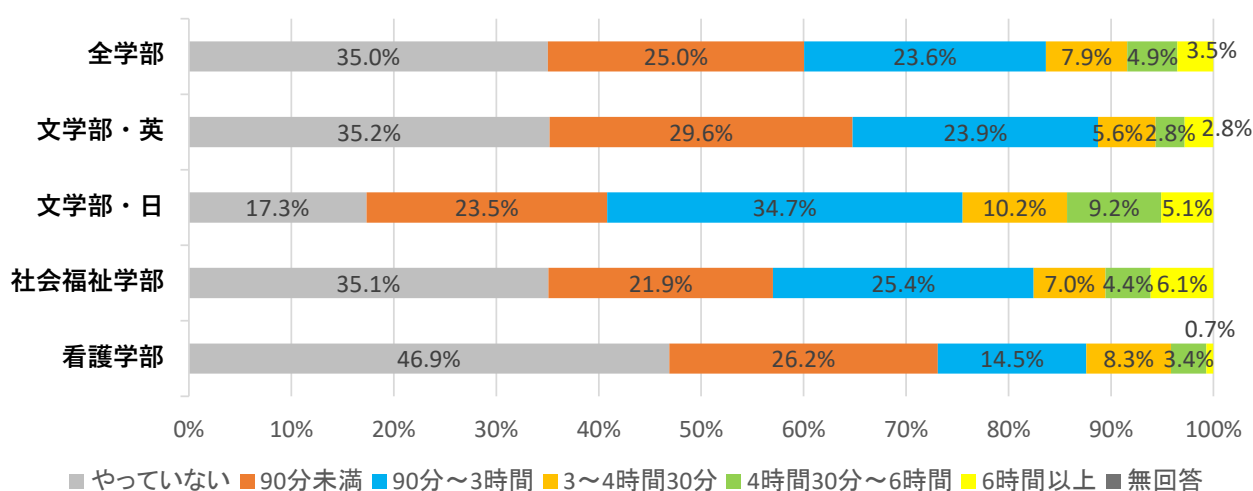
問17 定期的に読んでいるものは何ですか。



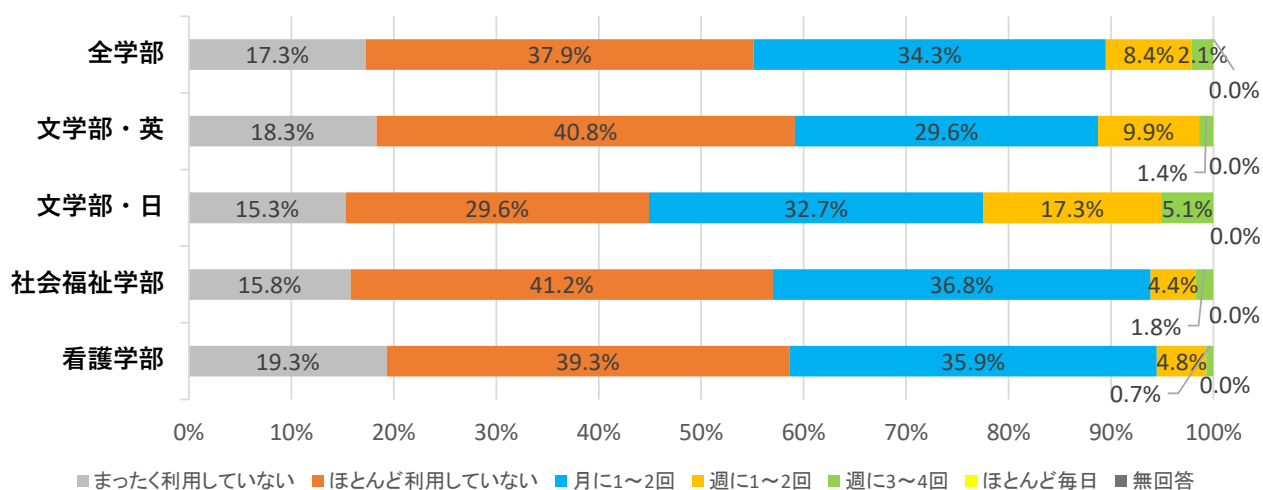
問18 インターネット(LINE、SNSなども含む)を、1日どのくらい使っていますか。



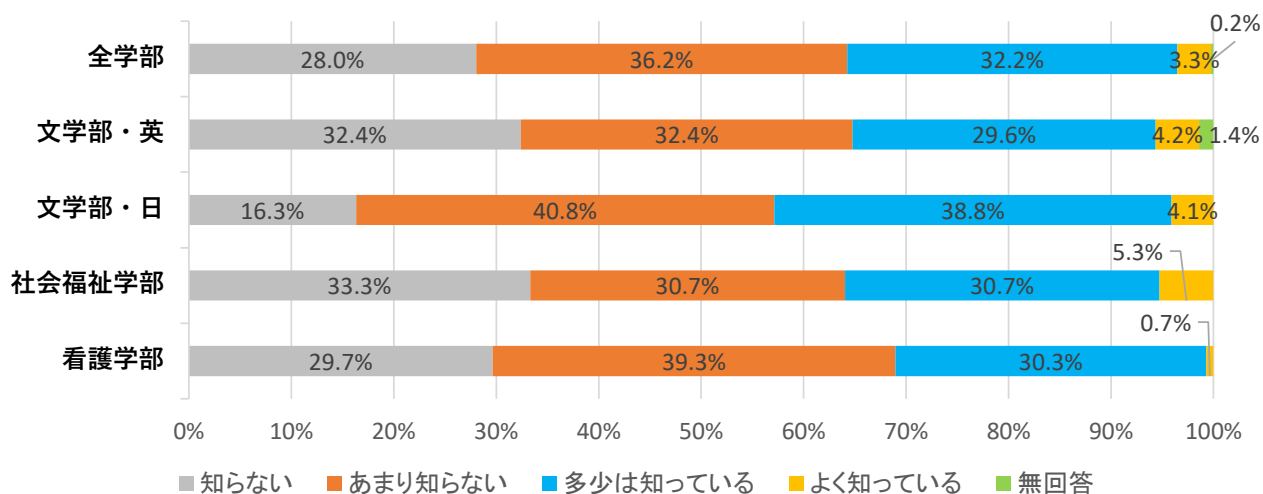
問19 ゲーム(オンラインゲームも含む)を、1日どのくらい使っていますか。



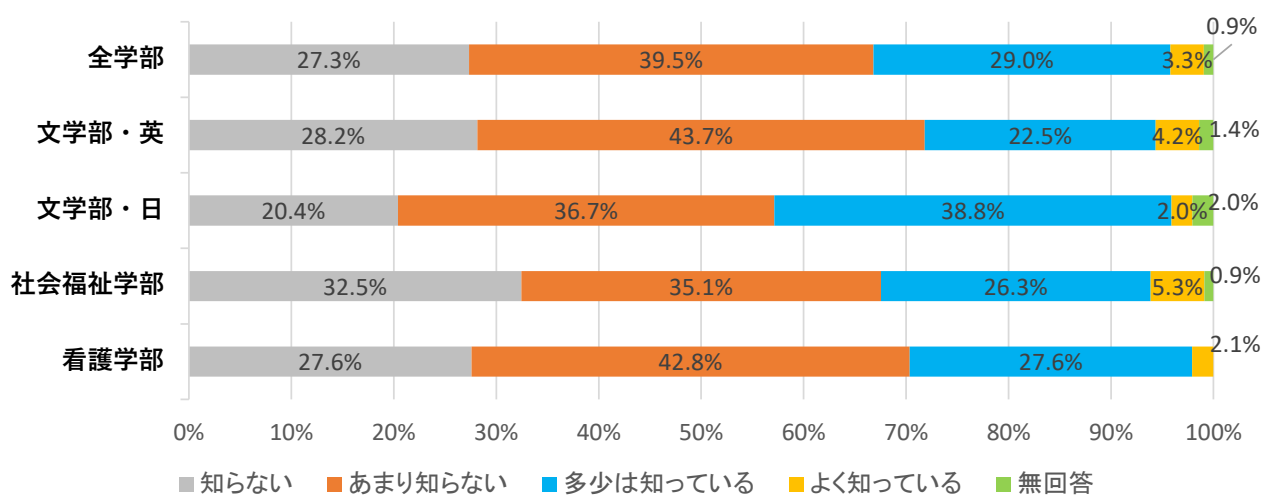
問20 図書館をどのくらい利用していますか。



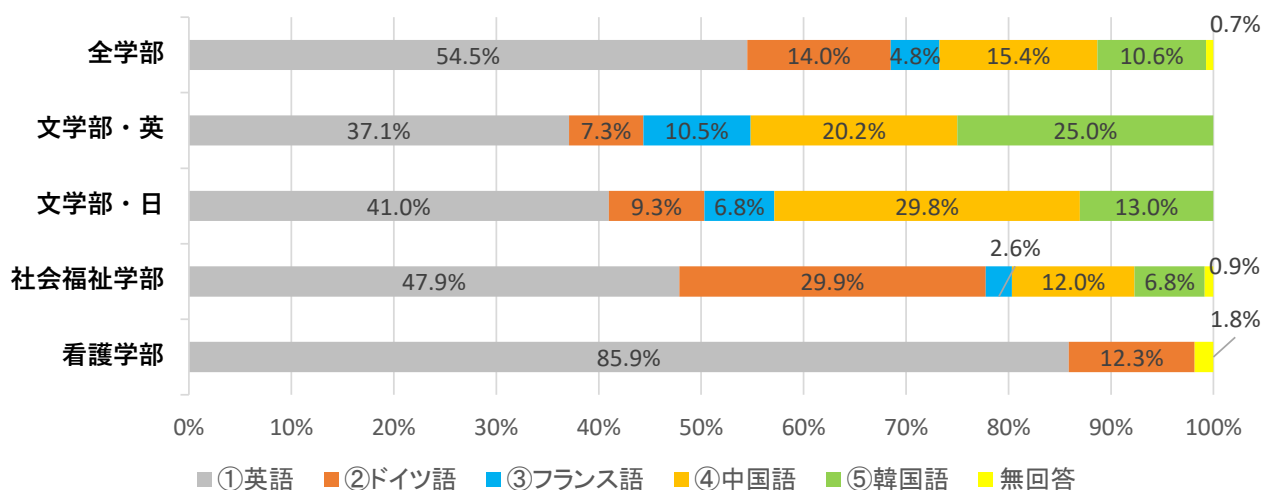
問21 【教育理念(建学精神)、C・P、D・P】 本学の建学の精神について、知っていますか。



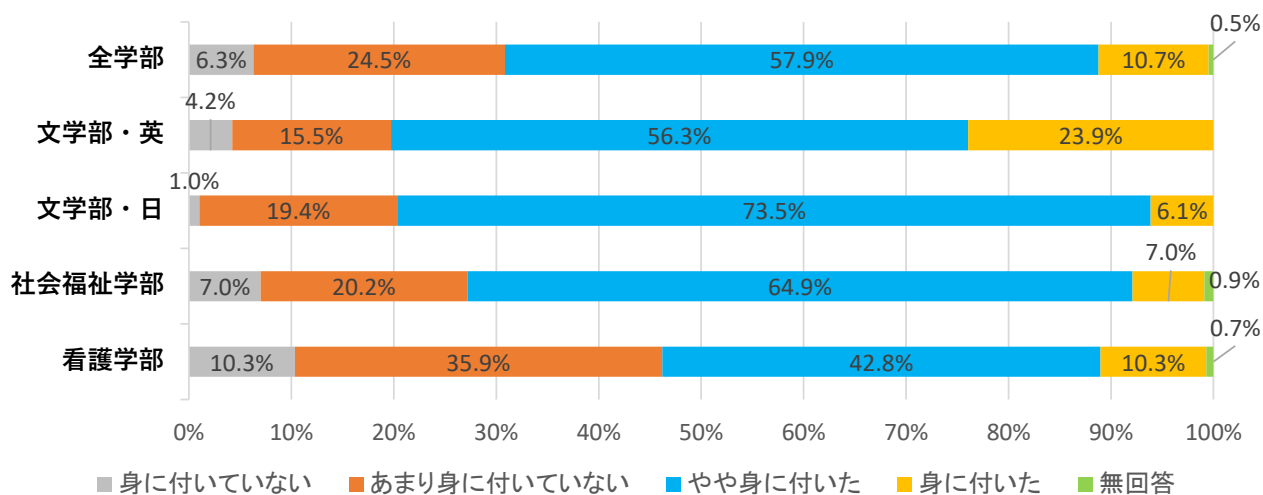
問22 シラバスに記載されているC・P(カリキュラム・ポリシー)、
D・P(ディプロマ・ポリシー)とは何か知っていますか。
(注)カリキュラム・ポリシーは「教育課程編成・実施の方針」と言い、
ディプロマポリシーは「卒業認定・学位授与の方針」と言います。



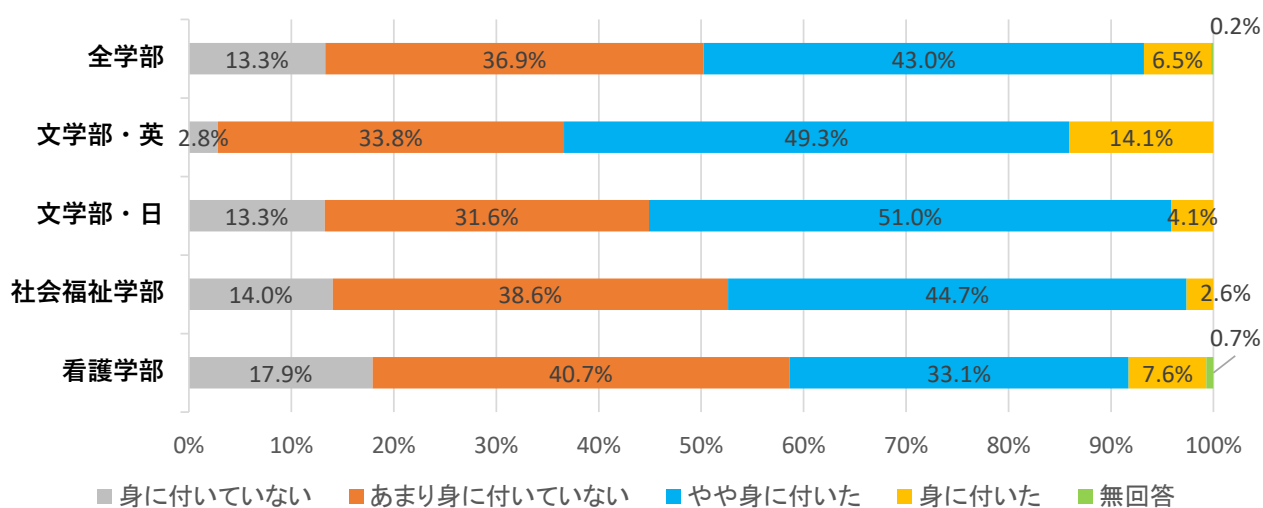
問23 本学ではどんな外国語の授業を履修していましたか。(複数選択可)



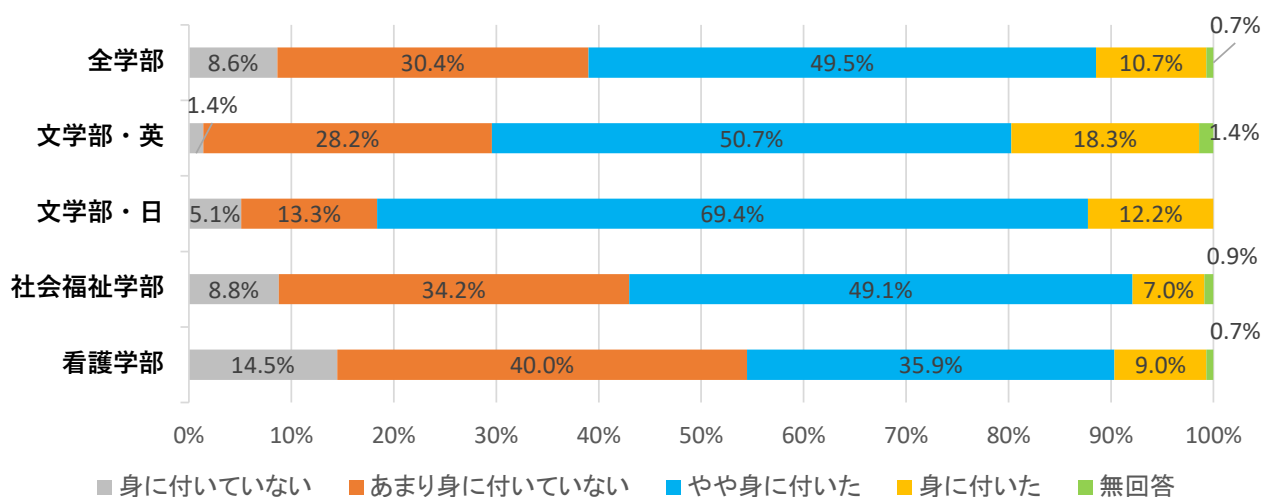
問24 学習している外国語の1つについて、どのような力が身に付きましたか。読む力について



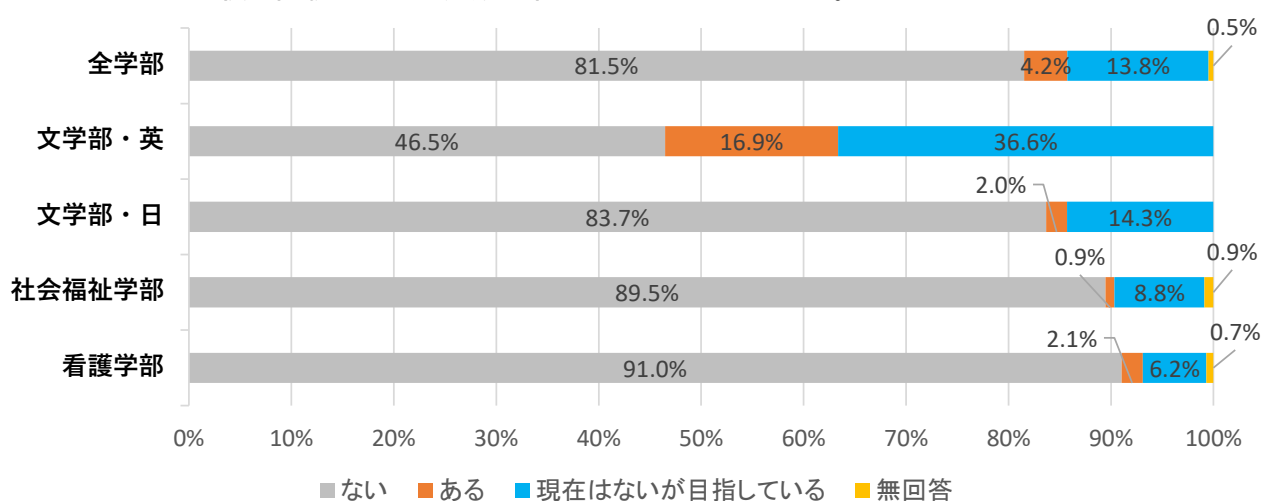
問25 会話力について



問26 書く力について



問27 大学入学後、語学の資格を取ったことがありますか、 あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。



問28 ※「ある」と回答した方は、取得した資格や検定試験の点数を教えてください。

→(例)英検1級合格、TOEICで500点、など

TOEIC 380、500、550、584、600、695、750、765、780(2)

TOPIK 4級、6級

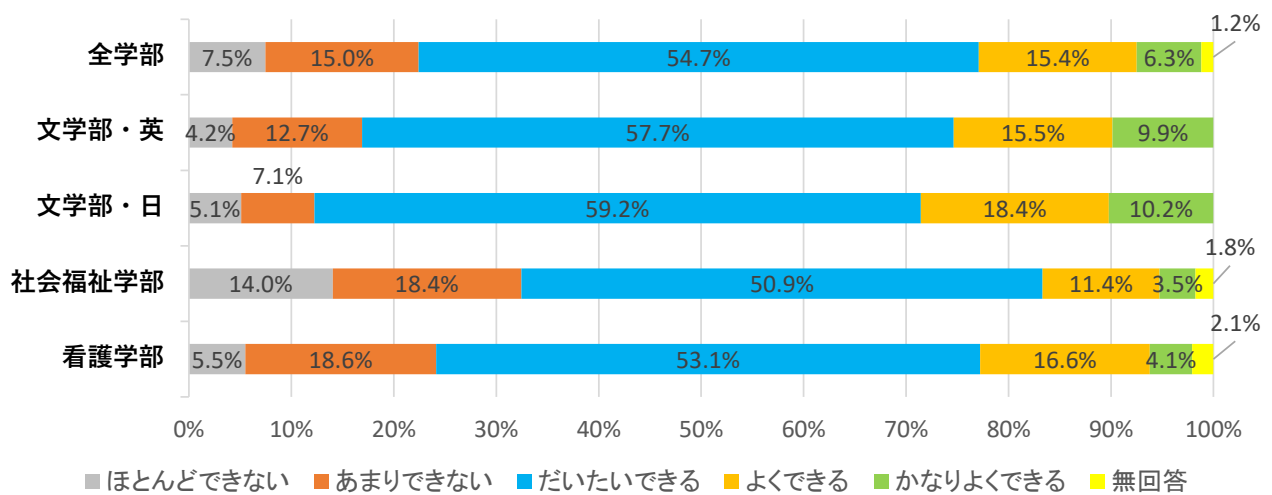
英検 準1級

漢検 準1級

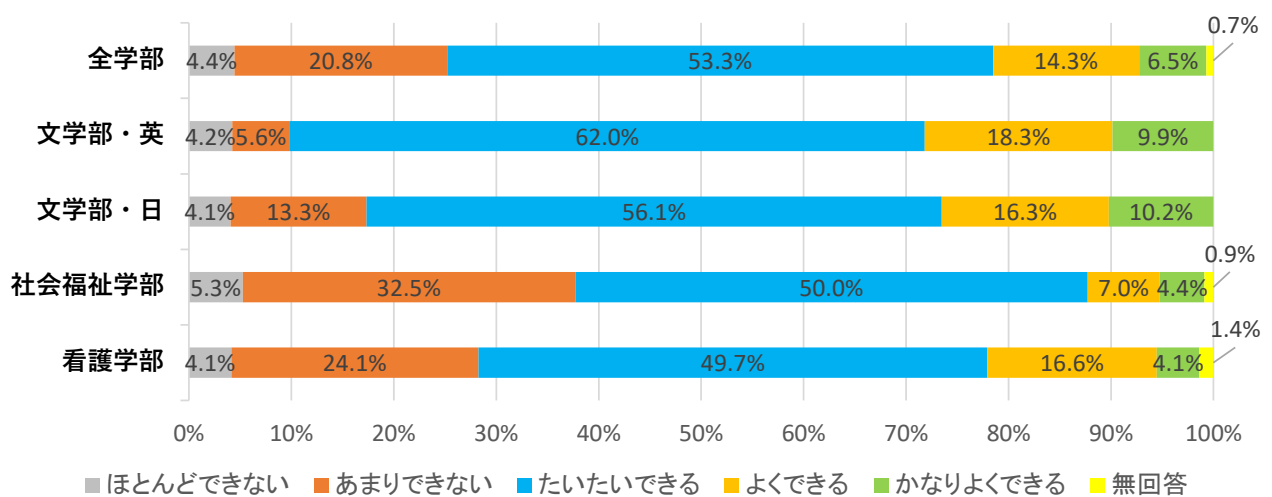
日本語教育能力検定試験

韓国語能力試験2級

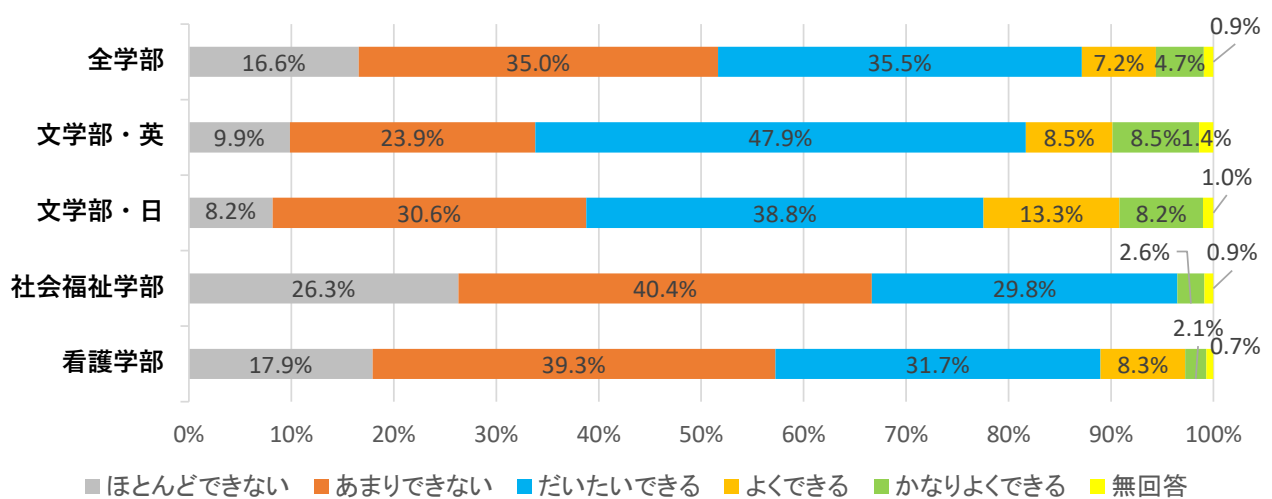
問29 ICTリテラシー(情報機器やインターネットを使う能力)について
文章作成ソフト(Wordなど)を使える。



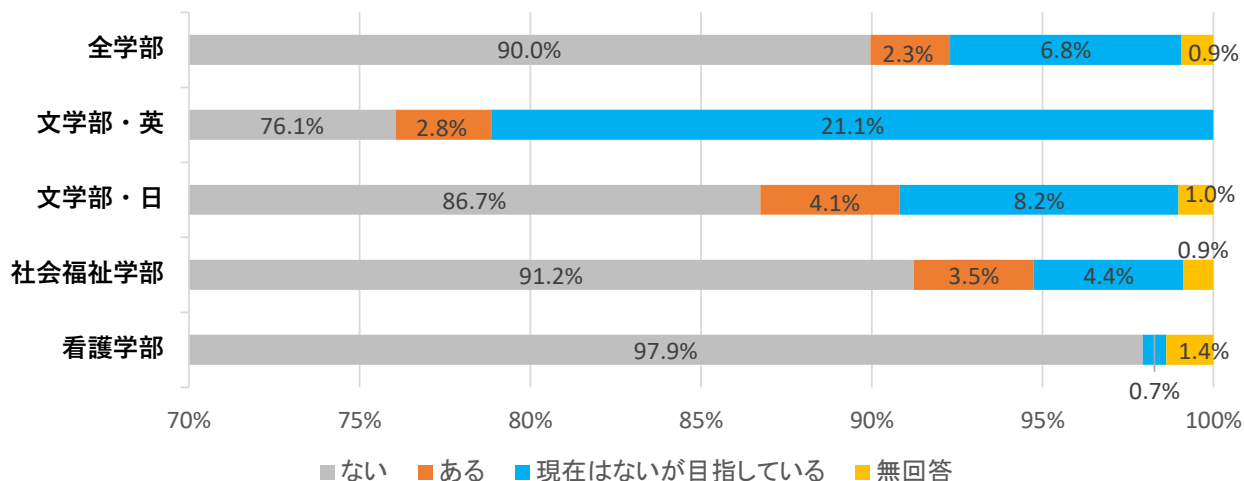
問30 プレゼンテーションソフト(PowerPointなど)を使える。



問31 表計算ソフト(Excelなど)を使える。

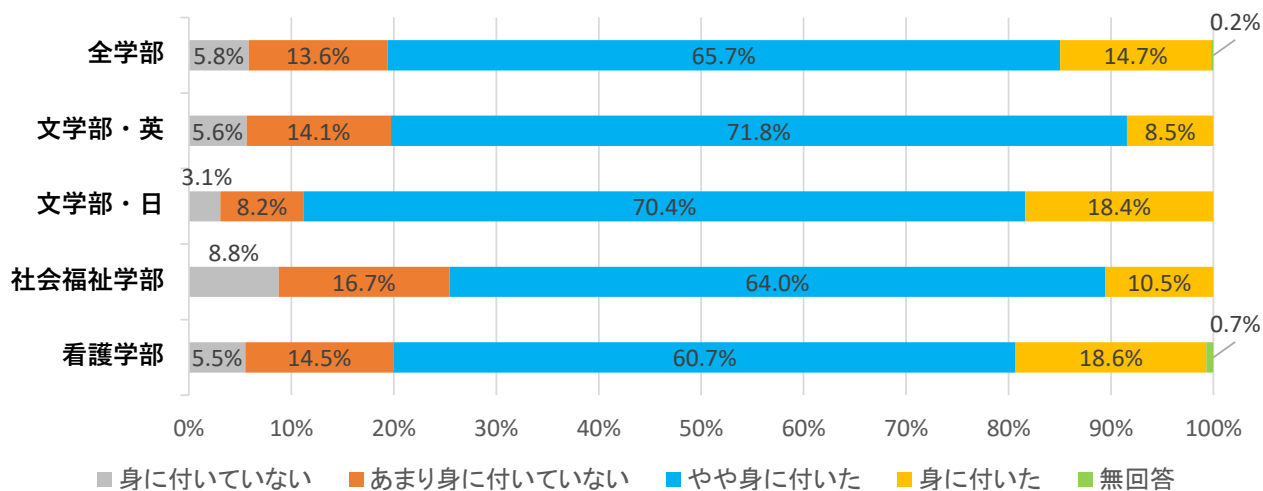


問32 大学入学後、取得したICT関連の資格がありますか、
あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。

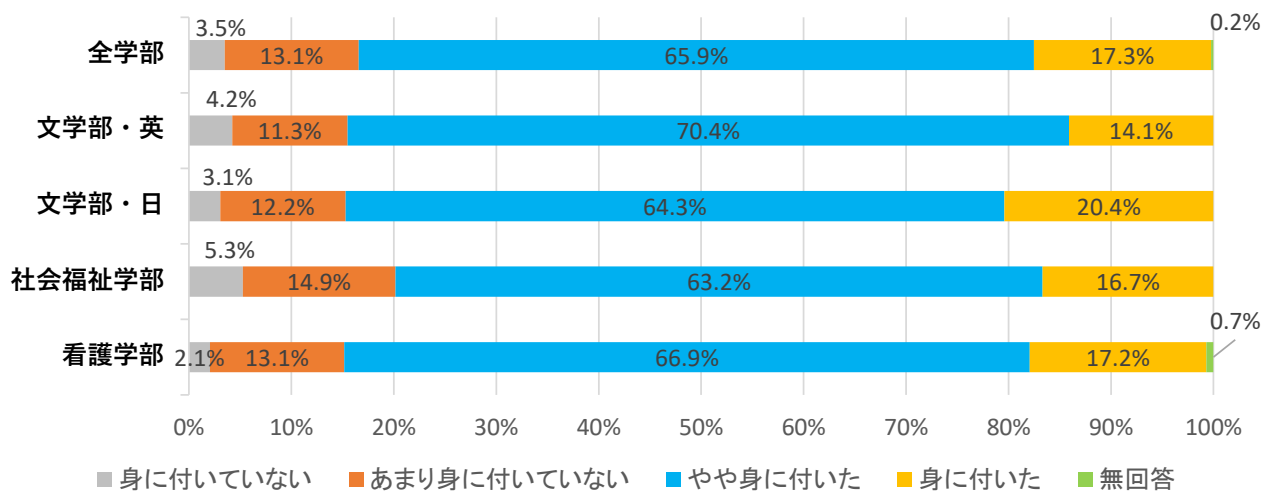


問33 ※「ある」と回答した方は、取得した資格や検定試験の点数を教えてください。
→(例)日本語ワープロ検定試験1級合格、情報処理技能検定試験 表計算2級合格など
日商PC検定3級
MOS (マイクロソフトオフィススペシャリスト)
情報処理技術者試験

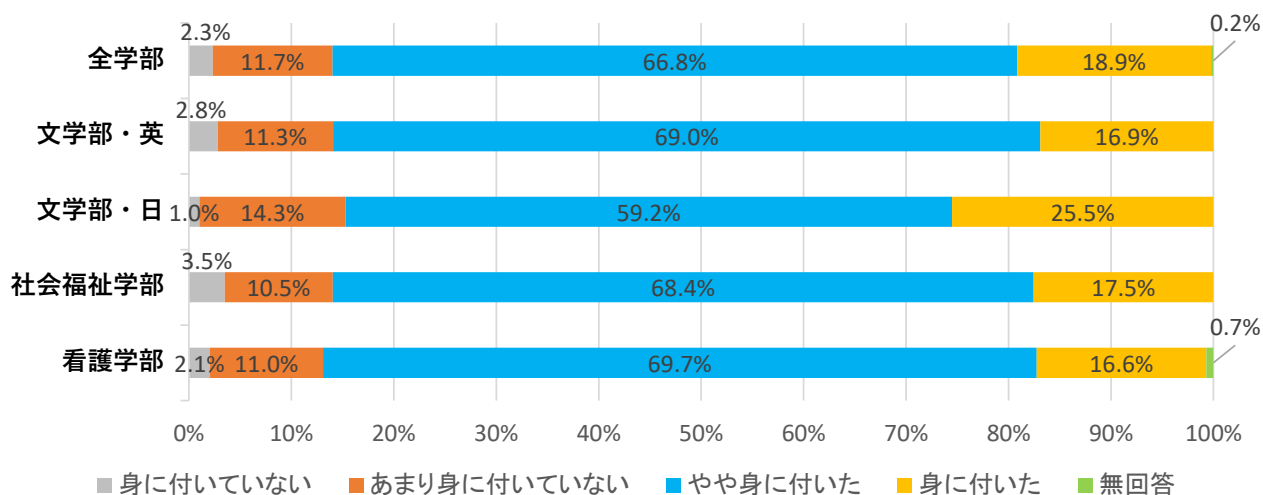
問34 【教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキルについて】
以前よりも幅広い知識や教養が身に付きましたか。



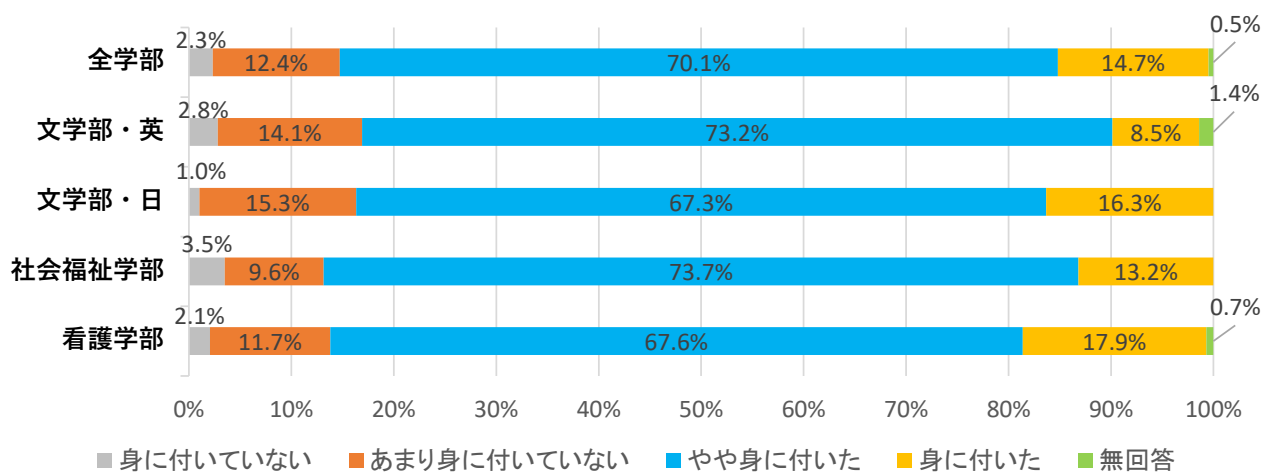
問35 レポートや論文の作成について、
必要な情報収集のスキル(文献、資料統計などの検索方法など)が身に付きましたか。



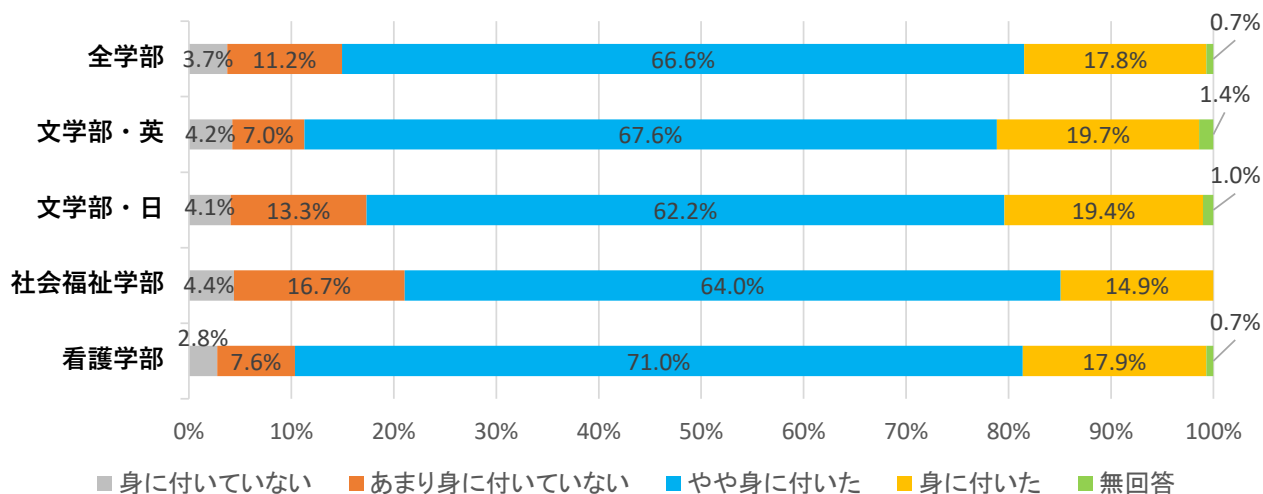
問36 レポートや論文の作成について、
書くために必要なスキル(書式や作法など)が身に付きましたか。



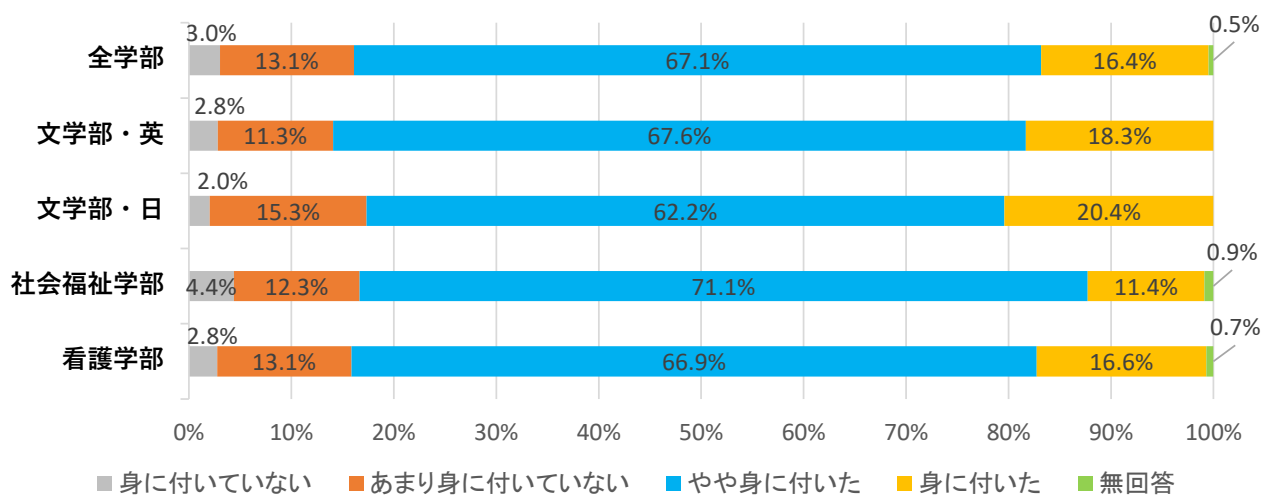
問37 専門的な知識やスキルが身に付きましたか。



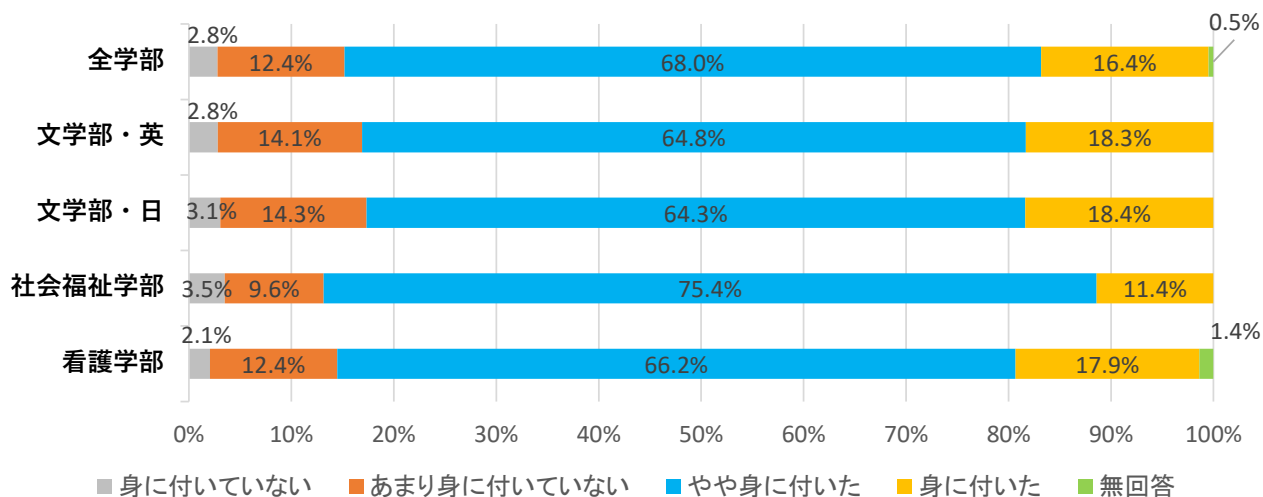
問38 【自己の資質・能力の変化、向上について】自ら学ぶ姿勢が身に付きましたか。



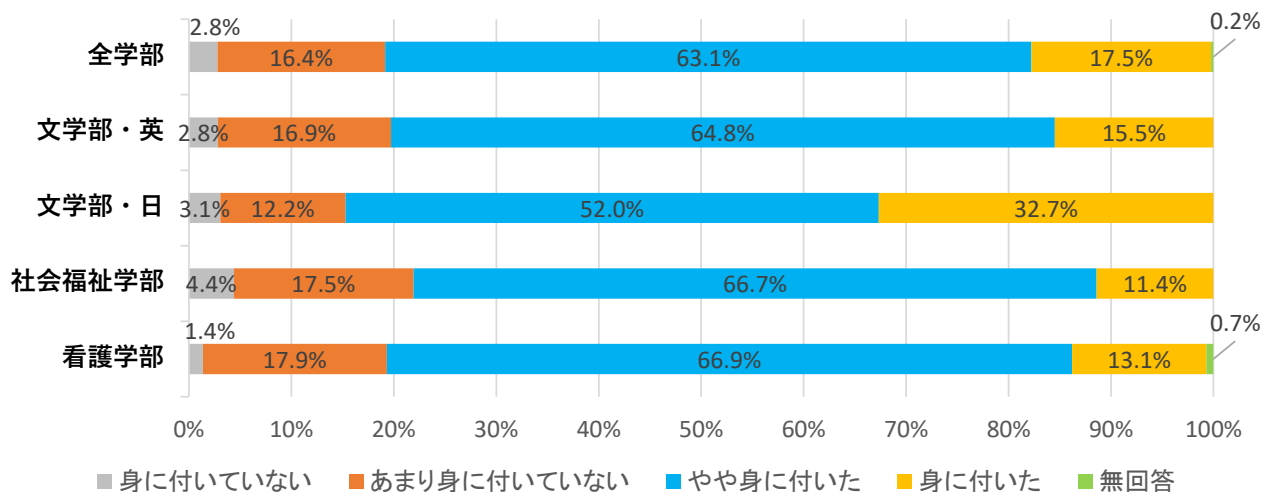
問39 論理的に考える力が身に付きましたか。



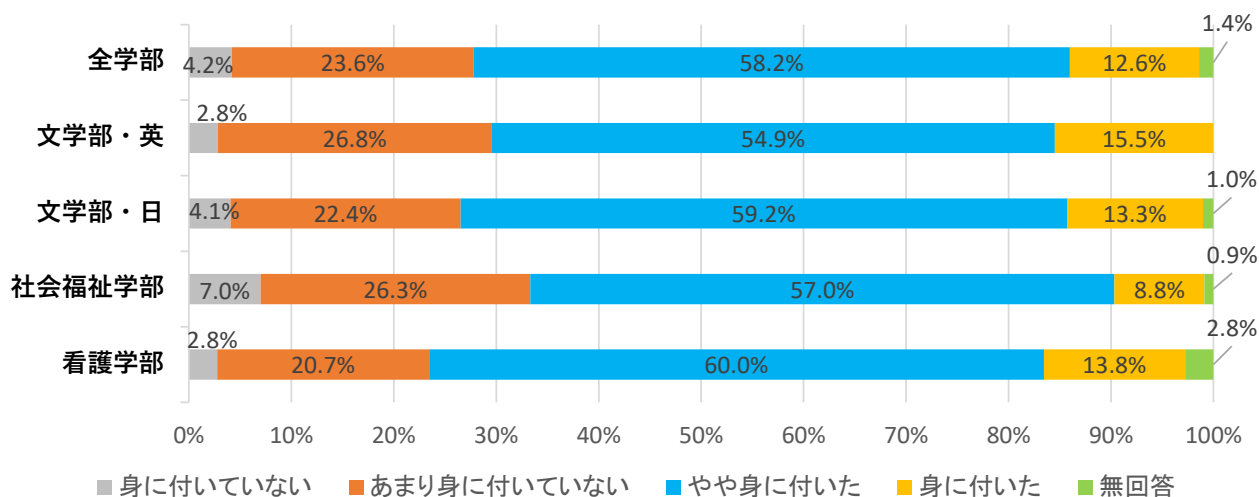
問40 分析力、課題解決能力が身に付きましたか。



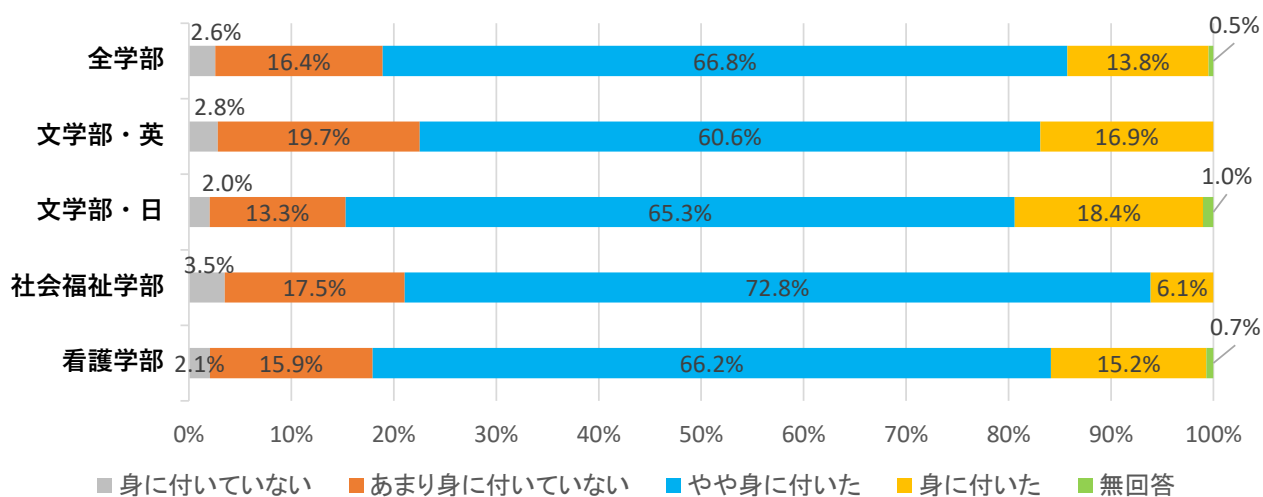
問41 批判的に考える力が身に付きましたか。



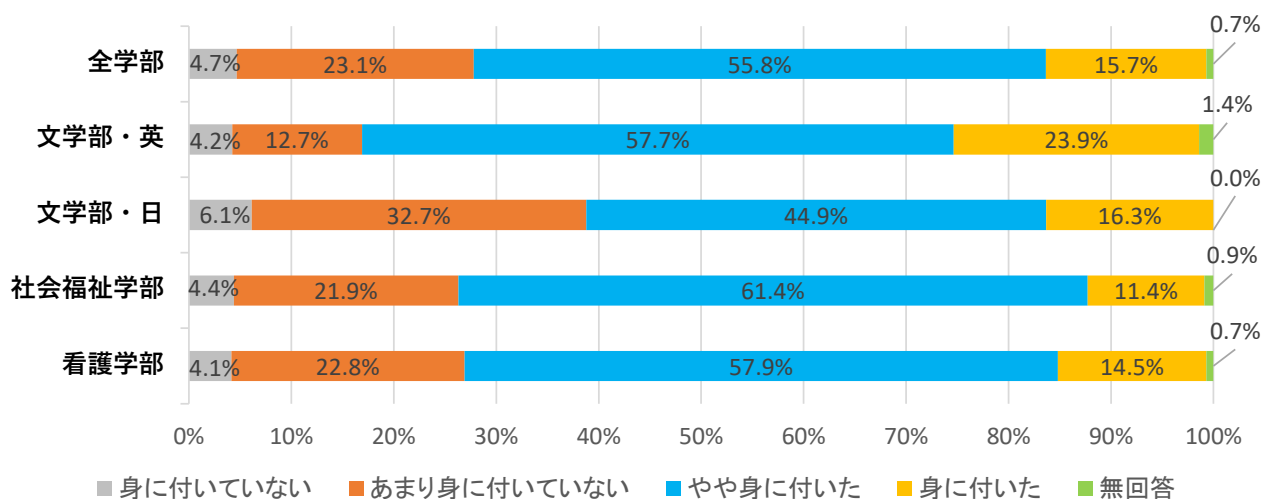
問42 企画・アイデアなどの想像力が身に付きましたか。



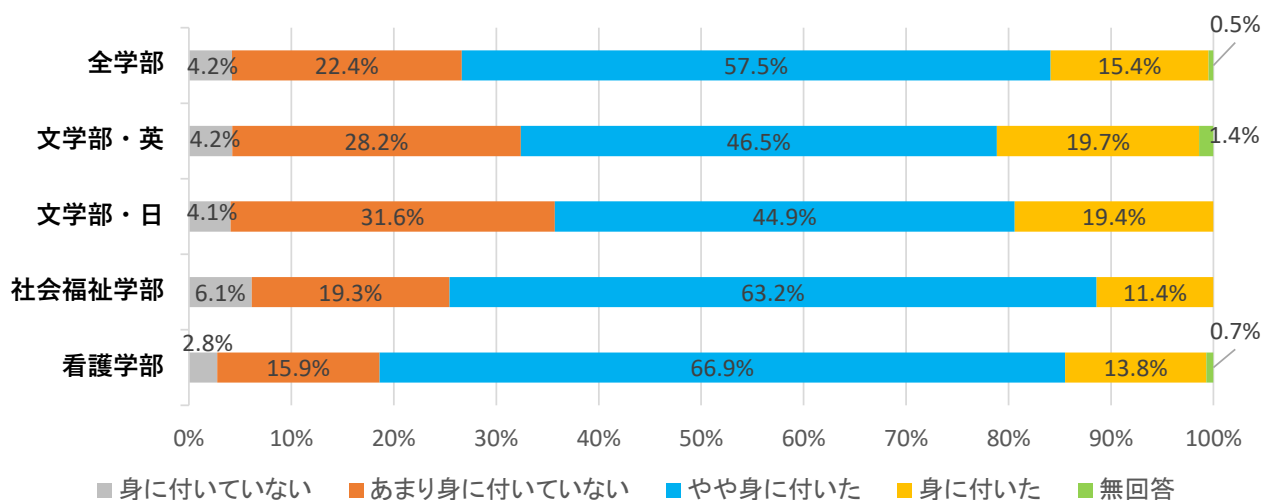
問43 【表現する力の変化、向上について】日本語表現能力が身に付きましたか。



問44 プレゼンテーション能力が身に付きましたか。

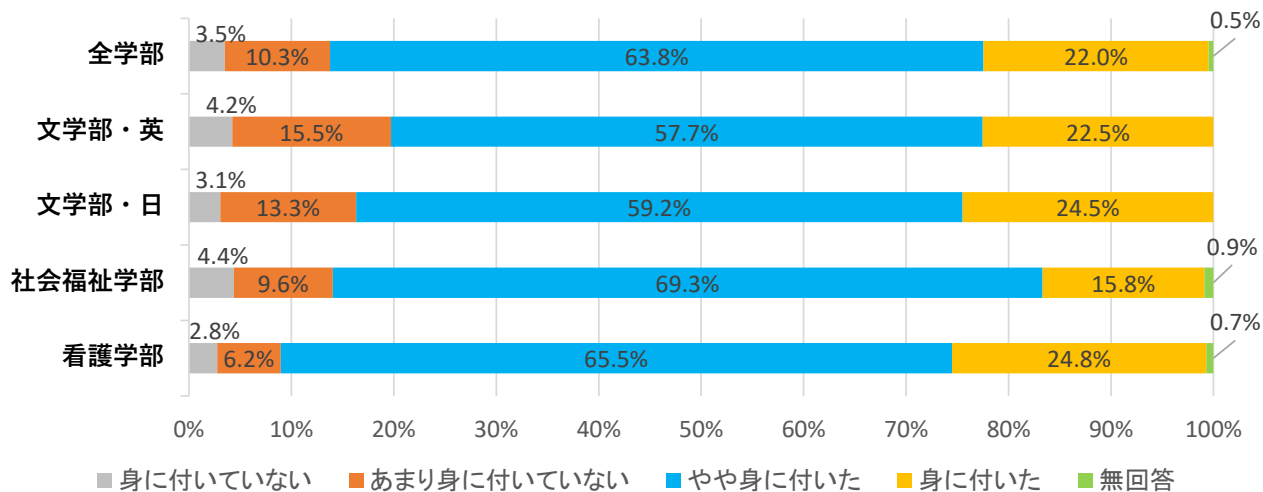


問45 ディスカッション能力が身に付きましたか。

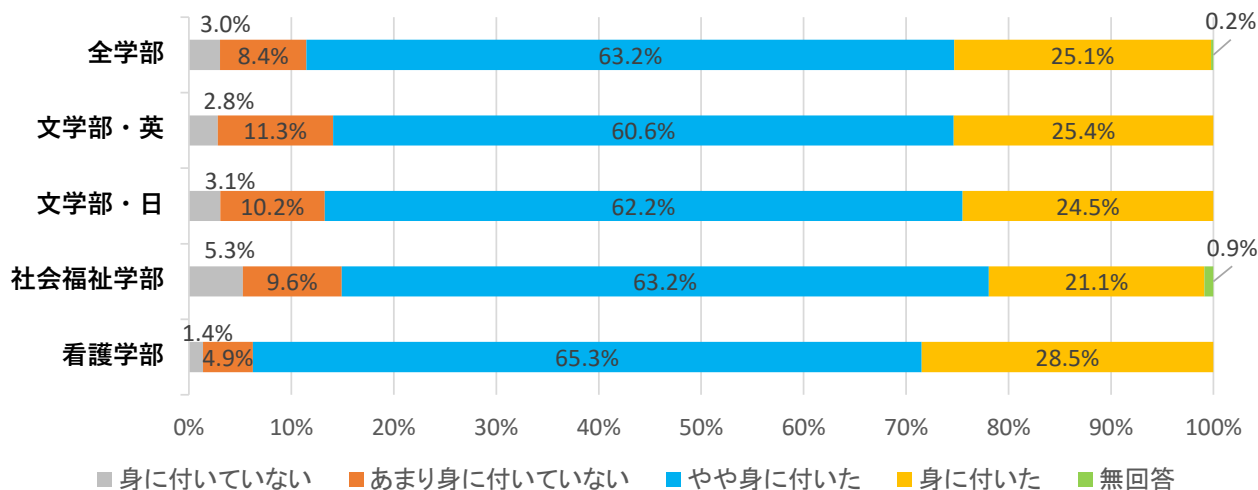


問46 【他者と協働する力の変化、向上について】

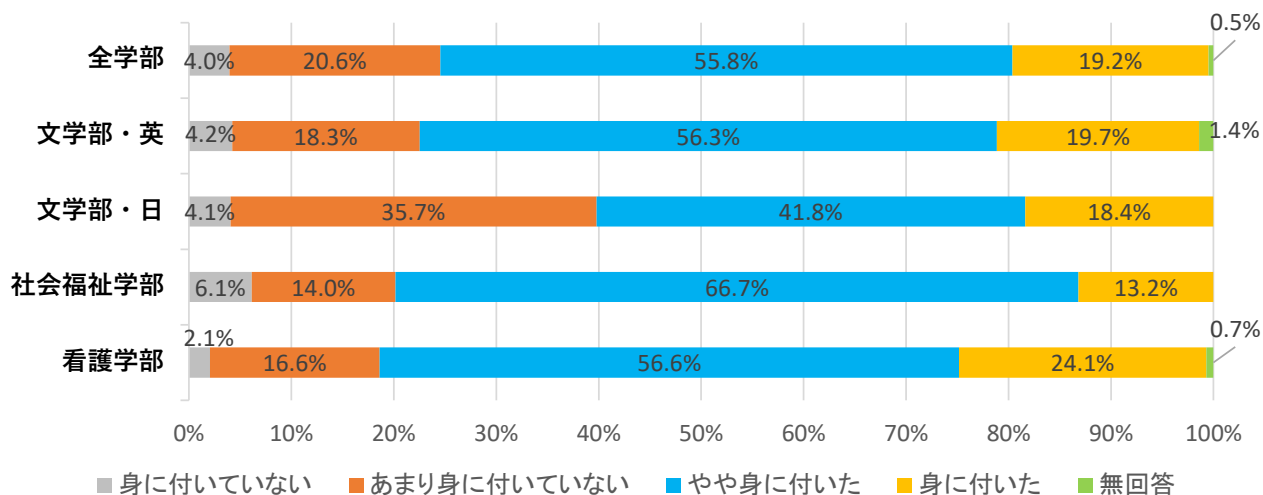
他者とのコミュニケーションを図って相互に理解し合う能力が身に付きましたか。



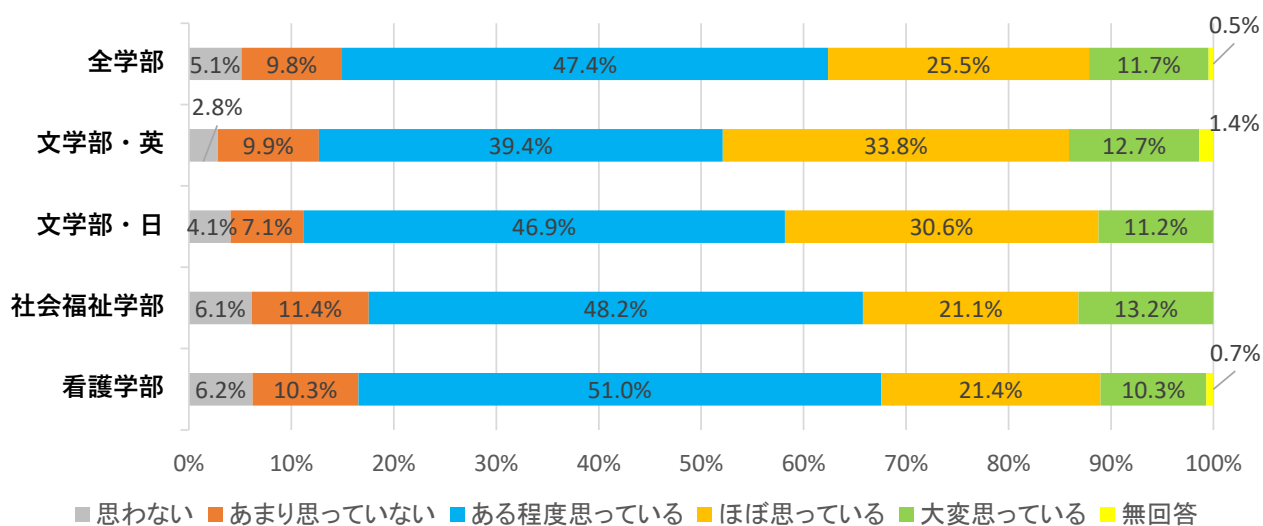
問47 協働して物事を進める力が身に付きましたか。



問48 協働作業などで、グループをまとめ上げる力が身に付きましたか。



問49 【その他】弘前学院大学に入学して良かったと思っていますか。



問50 弘前学院大学への要望・希望があれば、自由に書いてください。

○施設・設備関係

- ・学食が欲しい。(4)
- ・図書館の閉館時間を延ばしてほしい。(2)
- ・看護棟にパンやアイスなどの食品の自動販売機が欲しい。(2)
- ・看護学部と他学部で施設の充実に差があるように思う。
- ・購買の値段を安くしてほしい。
- ・生協の品揃えを充実してほしい。
- ・フリースペースを増やしてほしい。
- ・喫煙所が欲しい。
- ・男子更衣室が狭い。
- ・施設管理費等を安くしてほしい。

○授業・教員関係

- ・再試験の料金が高い。(3)
- ・学習会の難易度を上げてほしい。
- ・数学を充実させてほしい。
- ・新年度のオリエンテーションや就活の指導を3月中から始めてほしい。
- ・シラバスを紙にしてほしい。
- ・10分程度で終わる話であればリモートで行っていただきたい。

○連絡関係

- ・Teamsで講義や説明会、実習など早く連絡してほしい。ほかの日程が組めない。(9)
- ・3月中に次年度の時間割表と成績表を出してほしい。(2)
- ・単位情報をTeams等で確認できるようにしてほしい。

○大学生生活関係

- ・特待生の数を文学部は2名にしてほしい。
- ・金銭面での支援を増やしてほしい。
- ・全学部全学科で運動会をしたい。
- ・駐車場の登録をしていない学生が校内の駐車場を使っているため、対策してほしい。

A 学修行動

A「学修行動」の問3～問20の図表・グラフ(4～9ページ)を参照されたい。

1. 授業以外の諸活動(週当たり)

授業以外の諸活動として、アルバイト、部活、サークル活動、ボランティア活動について尋ねた。

問3 アルバイトの平均就労時間/週

全学部の66.6%の学生がアルバイトをしている。前年度に比べ5.8%増えている。

学科別では、文学部英語・英米文学科生が78.8%と最も多く、文学部日本語・日本文学科生が63.2%、社会福祉学科生が72.8%、看護学科生57.9%のアルバイトをしている。

問4 部活、サークル活動

全学部の18.5%が部活やサークル活動に参加しており、前年度に比べ1.9%増えている。また、参加していない学生が81.5%である。社会福祉学部、文学部英語・英米文学科ではやや高めの参加率となっている。全学的に部活やサークル活動に参加していない傾向にある。

問5 ボランティア活動

全学部のうちボランティア活動を行っている学生は5.8%で、前年度に比べ0.2%増えている。ボランティア活動を行っていない学生が94.2%である。特に、社会福祉学部ではボランティア活動に参加している学生が10.5%と他学部よりもやや多い傾向が見られる。

2. 勉学状況

ここでは授業関係について尋ねた。

(1) 登校・出席状況、授業を中心とした学修状況について

問6 登校日数

全学部の96.5%の学生が週に3日以上登校しており、特に週に5～6日登校する学生が最も多い傾向である。前年度に比べ2%増えている。各学部とも週に5日以上登校する学生が67%以上を占めている。多くの学生が週に一定の頻度で大学での学修に取り組んでいると考えられる。

問7 授業出席割合

全学部の81.3%の学生が授業に80～100%出席している。前年度に比べ0.7%減っている。看護学部の学生がこれに該当する割合が91%で他の学部より若干高めである。また、文学部英語・英米文学科の学生の出席率が低い傾向にある。

問8 授業欠席割合

全学部の学生のうち、授業で欠席した割合が20%未満である学生が83.6%と多く、欠席率が比較的少ないことが分かる。前年度に比べ3%減っている。特に看護学部の学生は欠席率が最も低い傾向である。

問9 授業への興味・関心度

全学部の興味・関心のある授業に対して80～100%の学生が12.6%と低い結果となっている。前年度に比べ3.7%減っている。社会福祉学部は15.8%と高く、文学部英語・英米文学科は5.6%と低い結果となっている。

問10 授業の難易度

全学部の学生の57%が授業の難易度を「ふつう」と感じている。前年度に比べ1.5%減っている。文学部、社会福祉学部では「ふつう」と感じる学生が多い傾向である。一方、看護学部では、「やや難しい」と「ふつう」と感じる学生がほぼ同数という結果となっている。

問11 授業取り組み度

全学部で「よく取り組んだ」が38.6%となっており、前年度に比べ5.6%増えている。文学部では、「よく取り組んだ」の割合が高く、社会福祉学部は「ふつう」と「よく取り組んだ」が同数、看護学部では「やや取り組んだ」学生が多い結果となっている。

問 12 授業の予習

全学部の 18.2%が予習をしていないという結果となっている。前年度に比べ 1.3%増えている。また、予習をしている時間については、「90 分未満」が 46.0%、「90 分～3 時間」が 28%という結果になっている。

問 13 授業の復習

全学部の 16.4%が復習をしていないという結果となっている。前年度に比べ 1.2%減っている。特に文学部英語・英米文学科では「していない」「90 分未満」が多い傾向でとなっている。復習をしている時間については、「90 分未満」が 46.7%、「90 分～3 時間」が 27.1%という結果になっている。

問 14 授業に関わる発表、レポート、課題への取り組み時間

全学部の 50%が 3 時間以上、発表の準備、レポート、課題の作業時間に費やしているという結果となっている。前年度に比べ 3.6%減っている。また、各学部とも「3～4 時間 30 分以上」の割合が高い結果となっている。

(2) 授業以外の学修行動、ふだんの行動

読書、新聞、定期的に読むもの、インターネット、ゲーム、図書館利用率などを尋ねた。

問 15 読書量

全学部の47.2%が本を読まない結果がある。前年度に比べ4.6%増えている。一方で、文学部日本語・日本文学科では21.4%が本読まない結果となっており、他学科と比べ読書習慣があると考えている。また、社会福祉学部は57%、看護学部は60.6%が本を読まない結果となっている。

問 16 新聞を読むか

全学部の66.8%が新聞を読まない結果となっている。前年度に比べ1.7%減っている。また、看護学部では77.9%が新聞を読まない結果となっている。

問 17 定期的に読んでいるもの

全学部共通して「マンガ、雑誌」が最も定期的に読まれ、次いで「専門誌」の人気があります。特に文学部日本語・日本文学科生は「マンガ、雑誌」の読者が69.4%と多い結果となっている。前年度に比べ4.5%減っている。

問 18 インターネット使用時間

全学部で最も多いインターネット利用時間帯は90分以上の利用が90%を超えている結果となっている。前年度に比べ同等の結果となっている。学生の大部分は中程度の時間帯にインターネットを利用している傾向にある。全く利用しない学生は1.2%という結果となっている。

問 19 ゲーム

全学部でゲームをやっていない割合が35.0%と最も多く、次いで「90分未満」が25.0%、「90分～3時間」が23.6%となっている。看護各学部は、46.9%がゲームをやっていない結果となっている。前年度に比べ同等の結果となっている。

問 20 図書館利用率

全学部で図書館を「まったく利用していない」が17.3%、「ほとんど利用していない」が37.9%となっている。また、利用頻度は「月に1～2回」が多い傾向である。前年度「ほとんど毎日」は1.4%あったが、「ほとんど毎日」の利用は全くないという結果となっている。

B 学修成果

B「学修成果」問 21～48 の図表・グラフ (10～19 ページ) を参照されたい。

1. 教育理念 (建学精神)、C・P、D・P

本学の建学の精神が、どの程度理解され、浸透しているか、また学士課程教育の骨格部分がどの程度把握されているかを尋ねた。

問 21 建学の精神

本学の建学の精神に対する学生の理解度が低い結果となっている。全学部で「知らない」が28%、「あまり知らない」が36.2%となっており、「よく知っている」学生は3.3%と少数だった。学生に対してさらなる情報提供や啓発が必要と考えている。前年度に比べ「知らない」が3.4%増えている。

問 22 カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの浸透度

「C・P(カリキュラム・ポリシー)」と「D・P(ディプロマ・ポリシー)」に対する学生の理解度が低い結果となっている。全学部で「知らない」が27.3%、「あまり知らない」が39.5%となっており、「よく知っている」学生は4.7%と少数でした。学生に対してさらなる情報提供や啓発が必要と考えている。前年度に比べ「知らない」が4.4%増えている。

2. 外国語能力

選択した外国語能力について、「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的評価は、一般的に低く、とくに問 25 会話力では、「身に付いていない・あまり身に付いていない」の方が「身に付いた・やや身に付いた」よりも5.7ポイント(昨年1.7ポイント)高い。

問 23 選択した外国語

「英語」が全学部で54.5%と最も多いが、前年度に比べ2.2%減っている。また、看護学部では「英語」が85.9%と圧倒的な割合である。他の外国語には学部による違いがあり、例えば、文学部では「中国語」「韓国語」が多く、社会福祉学部では「ドイツ語」が多いという結果となっている。

問 24 読む力

「やや身に付いた」が最も多く全学部で 57.9%であり、前年度と同じ結果となっている。「身に付いていない」が 6.3%、「あまり身に付いていない」が 24.5%となっている。学部別でも「やや身に付いた」が最も多い傾向が見られます。読む力に対して一定の理解を持つ学生が多い一方、まだ向上の余地があると考えている。

問 25 会話力

「やや身に付いた」が最も多く全学部で 43%であり、前年度に比べ 4.3%増えている。特に文学部で会話力の身に付いた学生が 50.3%と高い割合を示す一方、全学部の「身につけていない」が 13.3%、「あまり身につけていない」が約 36.9%という結果となっている。

問 26 書く力

「やや身に付いた」が最も多く全学部で 49.5%であるが、前年度に比べ 1.2%減っている。また、「あまり身に付いていない」30.4%という結果となっており、前年度に比べ 4.6%増加している。文学部では他学部と比べて書く力を身に付けている割合が高い傾向がある。社会福祉学部と看護学部の学生は、「身に付いていない」や「あまり身に付いていない」の回答が比較的多い結果となっている。

問 27 語学の資格

大学入学後に語学の資格を取得した学生は、全学部の 4.2%となっている。前年度に比べ 0.8%減っている。また、文学部英語・英米文学科の学生は 16.9%が資格を取得しているという結果となっているが、前年度に比べ 1.8%減っている。他の学部では、語学の資格を取得した学生は全体的に比較的少ない傾向が見られます。

問 28 「ある」と回答し、具体的に記した資格・点数は次のようである。

- ・ TOEIC 380、500、550、584、600、695、750、765、780(2)
- ・ TOPIK 4 級、6 級
- ・ 英検 準 1 級
- ・ 漢検 準 1 級
- ・ 日本語教育能力検定試験
- ・ 韓国語能力試験 2 級

TOEIC スコアが主に 500 点～700 点台に多く分布しており、前年度よりもスコアが高い傾向にある。ほかには、英検、TOPIK、漢検などの語学検定試験に幅広く合格していることがわかる。

3. ICT リテラシー（情報機器やインターネットを使う能力）

この習熟度について、「あまりできない・ほとんどできない」の否定的回答が、文章作成ソフト、プレゼンテーションソフト、表ソフトの順で増加している。

問 29 文章作成ソフト

全学部の 54.7%は「だいたいできる」という結果であるが、前年度に比べ 3.3%減っている。学部毎では、文学部に比べ社会福祉学部、看護学部が「ほとんどできない」「あまりできない」が多い傾向にある。

問 30 プレゼンテーションソフト

全学部の 53.3%は「だいたいできる」という結果であるが、前年度に比べ 2.9%減っている。学部毎では、文学部に比べ社会福祉学部、看護学部が「ほとんどできない」「あまりできない」が多い傾向にある。

問 31 表ソフト

全学部の 35%が「あまりできない」という結果となっており、前年度に比べ 3.5%増えている。学部毎では、文学部に比べ社会福祉学部、看護学部が「ほとんどできない」「あまりできない」が多い傾向にある。

問 32 取得した ICT 関連資格、または検定試験受験の有無

全体的に、ほとんどの学生が ICT 関連の資格を持っていないと回答している。現在は目指している学生も一部ではあるが、ICT 関連の資格保有者数は限定的なものとなっている。

問 33 「ある」と回答し、具体的に記した資格は次のようである。

具体的な資格名は、日商 PC 検定 3 級、MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）、情報処理技術者試験となっている。

4. 教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキル

知識・教養、情報収集スキル、書くスキルおよび専門的知識・スキルについて、肯定的評価「身に付いた・やや身に付いた」はそれぞれ、82.9%（昨年 87.5%）、88.2%（昨年 89.1%）、97.6%（昨年 87.5%）、87.0%（昨年 84.7%）と 8 割超であるが、項目によって増減している。否定的評価の「あまり身に付いていない・身に付いていない」は、それぞれ 14.8%、10.5%、10.6%、11.8%であり、いずれも 2 割未満であったのは昨年と同様である。

問 34 幅広い知識、教養が身に付いたか

教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキルについては、全体的に「やや身に付いた」が 65.7%であり、前年度に比べ 1.6%増えている。「身に付いていない」が 5.8%、「あまり身に付いていない」が 13.6%と少なくないという結果となっている。

問 35 情報収集のスキルが身に付いたか

情報収集スキルについては、全体的に「やや身に付いた」が 65.9%であり、前年度に比べ 0.4%増えている。「身に付いていない」が 3.5%、「あまり身に付いていない」が 13.1%と少なくないという結果となっている。

問 36 レポート・論文作成上の書くためのスキルが身に付いたか

書くために必要なスキルについては、全体的に「やや身に付いた」が 66.8%であり、前年度に比べ 3%増えている。「身に付いていない」が 2.3%、「あまり身に付いていない」が 11.7%と少なくないという結果となっている。

問 37 専門的知識やスキルが身に付いたか

専門的な知識やスキルについては、全体的に「やや身に付いた」が 70.1%であり、前年度に比べ 5.7%減っている。「身に付いていない」が 2.3%、「あまり身に付いていない」が 12.4%と少なくないという結果となっている。

5, 総合的な力

(1) 自己の資質・能力の変化、向上

資質・能力では、学ぶ姿勢、論理的思考力、分析・課題解決能力、批判的思考力、企画力を尋ねた。「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的評価を見ると、学ぶ姿勢、論理的思考力、分析・課題解決能力の3項目は8割以上であるが、批判的思考力と企画力はやや低く、7割にとどまっている。しかし、どの能力も昨年より上昇している。

問 38 自ら学ぶ姿勢が身に付いたか

学自己の資質・能力の変化、向上については、全体的に「やや身に付いた」が66.6%であり、前年度に比べ5.1%減っている。「身に付いていない」が3.7%、「あまり身に付いていない」が11.2%と少なくないという結果となっている。

問 39 論理的に考える力

論理的に考える力については、全体的に「やや身に付いた」が66.6%であり、前年度に比べ3.7%増えている。「身に付いていない」が3%、「あまり身に付いていない」が13.1%と少なくないという結果となっている。

問 40 分析力、課題解決能力

分析力、課題解決能力については、全体的に「やや身に付いた」が68%であり、前年度に比べ5.6%減っている。「身に付いていない」が2.8%、「あまり身に付いていない」が12.4%と少なくないという結果となっている。

問 41 批判的に考える力

批判的に考える力が身に付いた学生の割合は、全体的に「やや身に付いた」が63.1%であり、前年度に比べ4.3%増えている。「身に付いていない」が2.8%、「あまり身に付いていない」が16.4%と少なくないという結果となっている。

問 42 企画、アイデアなどの想像力

企画・アイデアなどの想像力が身に付いた学生の割合は、全体的に「やや身に付いた」が58.2%であり、前年度に比べ2.3%増えている。「身に付いていない」が4.2%、「あまり身に付いていない」が23.6%と少なくないという結果となっている。

(2) 表現する力の変化、向上

表現能力について、日本語、プレゼンテーション、ディスカッション能力の習得度を尋ねたものであるが、習得度の割合は昨年と同様、この順で低下している。

問 43 日本語表現能力

日本語表現能力が身についた学生の割合は、全体的に「やや身に付いた」が 66.8%であり、前年度に比べ 6.1%増えている。「身に付いていない」が 2.6%、「あまり身に付いていない」が 16.4%と少くないという結果となっている。

問 44 プレゼンテーション能力

プレゼンテーション能力が身についた学生の割合は、全体的に「やや身に付いた」が 55.8%であり、前年度に比べ 1.1%減っている。「身に付いていない」が 4.7%、「あまり身に付いていない」が 23.1%と少くないという結果となっている。

問 45 ディスカッション能力

ディスカッション能力が身についた学生の割合は、全体的に「やや身に付いた」が 57.5%であり、前年度に比べ 0.1%減っている。「身に付いていない」が 4.2%、「あまり身に付いていない」が 22.4%と少くないという結果となっている。

(3) 他者と協働する力の変化、向上

この設問は社会で必要とされる「協働」についてであるが、この中で「身に付いた・やや身に付いた」の肯定的評価が高かったのは、問47「協働して進める力」と問48の「まとめ上げる力」(リーダーシップ)であったが、問46「コミュニケーションによる相互理解」は昨年に比して若干減じた。

問46 コミュニケーションによる相互理解

他者とのコミュニケーションスキルが身についた学生の割合は、全体的に「やや身に付いた」が63.8%であり、前年度に比べ10.3%増えている。「身に付いていない」が3.5%、「あまり身に付いていない」が10.3%と少なくないという結果となっている。

問47 協働して進める力

協働して物事を進める力が身についた学生の割合は、全体的に「やや身に付いた」が63.2%であり、前年度に比べ12%増えている。

問48 協働作業でグループをまとめ上げる力

全学部の協働作業などでグループをまとめ上げる力について、身についた学生の割合は、全体的に「やや身に付いた」が55.8%であり、前年度に比べ4.5%増えている。「身に付いていない」が4%、「あまり身に付いていない」が20.6%と少なくないという結果となっている。

C その他

C「その他」：問 49 の図表・グラフ（19 ページ）を参照されたい。

問 49 弘前学院大学に入学して良かったか。

最後に、全体的な満足度に関する設問である。

全体の 84.6%の学生が弘前学院大学に入学して良かったと「ある程度思っている」「ほぼ思っている」「大変思っている」と回答している。前年度に比べ 2.4%増えている。

自由記述

問 50 の図表・グラフ（20 ページ）を参照されたい。

弘前学院大学への要望・希望に関する自由記述である。今回のアンケートでは、40 件あり、多かったものとして Teams で講義や説明会、実習など早く連絡してほしいという要望が 9 件、学食の設置や食品自動販売機の増設が 6 件あった。

今回の結果については、大学事務職員でアンケート結果を共有している。また、学生の飲食設備関連について、地域活性化サークルの活動によりキッチンカーでの弁当販売を行っており、現在は看護学部棟（6 号館）前のみで販売しているが、今後は、文学部、社会福祉学部の学生向けにも販売できるよう販売場所の拡大を検討中である。

III 学修行動・学修評価アンケート質問一覧

1.あなたの所属学部・学科等についてうかがいます。所属学部・学科等
<input type="checkbox"/> 文学部・英語英米文学科 <input type="checkbox"/> 文学部・日本語日本文学科 <input type="checkbox"/> 社会福祉学部・社会福祉学科・社会福祉実践コース <input type="checkbox"/> 社会福祉学部・社会福祉学科・人間科学コース <input type="checkbox"/> 看護学部・看護学科
2.あなたの居住形態(自宅・下宿・アパート)についてうかがいます。
<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 下宿 <input type="checkbox"/> アパート
3.【授業以外の諸活動】アルバイト(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。
<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 5時間未満 <input type="checkbox"/> 5～9時間 <input type="checkbox"/> 10～14時間 <input type="checkbox"/> 15～19時間 <input type="checkbox"/> 20～24時間 <input type="checkbox"/> 25時間以上
4.部活、サークル活動(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。
<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1～2日 <input type="checkbox"/> 3～4日 <input type="checkbox"/> 5～6日 <input type="checkbox"/> 7日
5.ボランティア活動(1週間あたり)をどのくらいやっていますか。
<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1～2日 <input type="checkbox"/> 3～4日 <input type="checkbox"/> 5～6日 <input type="checkbox"/> 7日
6.【登校・出席状況、平均的な1週間における大学での学修】大学に何日登校しましたか。
<input type="checkbox"/> 0日 <input type="checkbox"/> 1～2日 <input type="checkbox"/> 3～4日 <input type="checkbox"/> 5～6日 <input type="checkbox"/> 7日
7.授業に出席した割合はどのくらいですか。
<input type="checkbox"/> 0～19% <input type="checkbox"/> 20～39% <input type="checkbox"/> 40～59% <input type="checkbox"/> 60～79% <input type="checkbox"/> 80～100%
8.しかるべき理由がなく欠席した授業は、どのくらいありますか。
<input type="checkbox"/> 20%未満 <input type="checkbox"/> 20～39% <input type="checkbox"/> 40～59% <input type="checkbox"/> 60～79% <input type="checkbox"/> 80%以上
9.興味・関心のある授業はどのくらいありますか。
<input type="checkbox"/> 0～20% <input type="checkbox"/> 20～39% <input type="checkbox"/> 40～59% <input type="checkbox"/> 60～79% <input type="checkbox"/> 80～100%
10.授業の難易度について、総体的にどのように感じていますか。
<input type="checkbox"/> かなり易しい <input type="checkbox"/> やや易しい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> やや難しい <input type="checkbox"/> かなり難しい
11.授業に対して、積極的に取り組みましたか。
<input type="checkbox"/> まったく取り組んでいない <input type="checkbox"/> やや取り組んだ <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> よく取り組んだ <input type="checkbox"/> かなり取り組んだ
12.授業の予習を、自発的に、1週間でどのくらいやりましたか。
<input type="checkbox"/> やっていない <input type="checkbox"/> 90分未満 <input type="checkbox"/> 90分～3時間未満 <input type="checkbox"/> 3～4時間30分未満 <input type="checkbox"/> 4時間30分～6時間未満 <input type="checkbox"/> 6時間以上
13.授業の復習を、自発的に、1週間でどのくらいやりましたか。
<input type="checkbox"/> やっていない <input type="checkbox"/> 90分未満 <input type="checkbox"/> 90分～3時間未満 <input type="checkbox"/> 3～4時間30分未満 <input type="checkbox"/> 4時間30分～6時間未満 <input type="checkbox"/> 6時間以上

14.授業で、教員に指示された発表の準備、レポートや課題に費やした時間は、1週間でのどのくらいですか。 <input type="checkbox"/> やっていない <input type="checkbox"/> 90分未満 <input type="checkbox"/> 90分～3時間未満 <input type="checkbox"/> 3～4時間30分未満 <input type="checkbox"/> 4時間30分～6時間未満 <input type="checkbox"/> 6時間以上
15.【授業以外の学修行動、ふだんの行動】本を、月にどのくらい読んでいますか。 <input type="checkbox"/> 読まない <input type="checkbox"/> 2冊以下 <input type="checkbox"/> 3～5冊 <input type="checkbox"/> 6冊以上
16.新聞を読んでいますか。 <input type="checkbox"/> 読まない <input type="checkbox"/> たまに読む <input type="checkbox"/> 時々読む <input type="checkbox"/> ほぼ毎日
17.定期的に読んでいるものは何ですか。 <input type="checkbox"/> 読まない <input type="checkbox"/> マンガ、雑誌 <input type="checkbox"/> 週刊誌 <input type="checkbox"/> 専門誌
18.インターネット(LINE、SNSなども含む)を、1日どのくらい使っていますか。 <input type="checkbox"/> やっていない <input type="checkbox"/> 90分未満 <input type="checkbox"/> 90分～3時間未満 <input type="checkbox"/> 3～4時間30分未満 <input type="checkbox"/> 4時間30分～6時間未満 <input type="checkbox"/> 6時間以上
19.ゲーム(オンラインゲームも含む)を、1日どのくらい使っていますか。 <input type="checkbox"/> やっていない <input type="checkbox"/> 90分未満 <input type="checkbox"/> 90分～3時間未満 <input type="checkbox"/> 3～4時間30分未満 <input type="checkbox"/> 4時間30分～6時間未満 <input type="checkbox"/> 6時間以上
20.図書館をどのくらい利用していますか。 <input type="checkbox"/> まったく利用していない <input type="checkbox"/> ほとんど利用していない <input type="checkbox"/> 月に1～2回 <input type="checkbox"/> 週に1～2回 <input type="checkbox"/> 週に3～4回 <input type="checkbox"/> ほとんど毎日
21.【教育理念(建学精神)、C・P、D・P】本学の建学の精神について、知っていますか。 <input type="checkbox"/> 知らない <input type="checkbox"/> あまり知らない <input type="checkbox"/> 多少は知っている <input type="checkbox"/> よく知っている
22.シラバスに記載されているC・P(カリキュラム・ポリシー)、D・P(ディプロマ・ポリシー)とは何か知っていますか。(注)カリキュラム・ポリシーは「教育課程編成・実施の方針」と言い、ディプロマポリシーは「卒業認定・学位授与の方針」と言います。 <input type="checkbox"/> 知らない <input type="checkbox"/> あまり知らない <input type="checkbox"/> 多少は知っている <input type="checkbox"/> よく知っている
23.本学ではどんな外国語の授業を履修していましたか。(複数選択可) <input type="checkbox"/> ①英語 <input type="checkbox"/> ②ドイツ語 <input type="checkbox"/> ③フランス語 <input type="checkbox"/> ④中国語 <input type="checkbox"/> ⑤韓国語
24.学習している外国語の1つについて、どのような力が身に付きましたか。 <input type="checkbox"/> 読む力について <input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
25.会話力について <input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
26.書く力について <input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
27.大学入学後、語学の資格を取ったことがありますか、あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現在はないが目指している
28.※「ある」と回答した方は、取得した資格や検定試験の点数を教えてください。 (例)英検1級合格、TOEICで500点、など _____ 点
29.ICTリテラシー(情報機器やインターネットを使う能力)について 文章作成ソフト(Wordなど)を使える。 <input type="checkbox"/> ほとんどできない <input type="checkbox"/> あまりできない <input type="checkbox"/> だいたいできる <input type="checkbox"/> よくできる <input type="checkbox"/> かなりよくできる

30.プレゼンテーションソフト(PowerPoint など)を使える。
<input type="checkbox"/> ほとんどできない <input type="checkbox"/> あまりできない <input type="checkbox"/> だいたいできる <input type="checkbox"/> よくできる <input type="checkbox"/> かなりよくできる
31.表計算ソフト(Excel など)を使える。
<input type="checkbox"/> ほとんどできない <input type="checkbox"/> あまりできない <input type="checkbox"/> だいたいできる <input type="checkbox"/> よくできる <input type="checkbox"/> かなりよくできる
32.大学入学後、取得した ICT 関連の資格がありますか、あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。
<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現在はないが目指している
33.※「ある」と回答した方は、取得した資格や検定試験の点数を教えてください。
(例)日本語ワープロ検定試験 1 級合格、情報処理技能検定試験 表計算 2 級合格など _____ 点
34.【教養的知識、基礎的スキル、専門的知識、専門的スキルについて】
以前よりも幅広い知識や教養が身に付きましたか。
<input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
35.レポートや論文の作成について、必要な情報収集のスキル(文献、資料統計などの検索方法など)が身に付きましたか。
<input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
36.レポートや論文の作成について、書くために必要なスキル(書式や作法など)が身に付きましたか。
<input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
37.専門的な知識やスキルが身に付きましたか。
<input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
38.【自己の資質・能力の変化、向上について】
自ら学ぶ姿勢が身に付きましたか。
<input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
39.論理的に考える力が身に付きましたか。
<input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
40.分析力、課題解決能力が身に付きましたか。
<input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
41.批判的に考える力が身に付きましたか。
<input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
42.企画・アイデアなどの想像力が身に付きましたか。
<input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
43.【表現する力の変化、向上について】
日本語表現能力が身に付きましたか。
<input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
44.プレゼンテーション能力が身に付きましたか。
<input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた
45.ディスカッション能力が身に付きましたか。
<input type="checkbox"/> 身に付いていない <input type="checkbox"/> あまり身に付いていない <input type="checkbox"/> やや身に付いた <input type="checkbox"/> 身に付いた

46. 【他者と協働する力の変化、向上について】

他者とのコミュニケーションを図って相互に理解し合う能力が身に付きましたか。

身に付いていない あまり身に付いていない やや身に付いた 身に付いた

47. 協働して物事を進める力が身に付きましたか。

身に付いていない あまり身に付いていない やや身に付いた 身に付いた

48. 協働作業などで、グループをまとめ上げる力が身に付きましたか。

身に付いていない あまり身に付いていない やや身に付いた 身に付いた

49. 【その他】 弘前学院大学に入学して良かったと思っていますか。

思わない あまり思っていない ある程度思っている ほぼ思っている 大変思っている

50.最後に、弘前学院大学への要望・希望があれば、自由に書いてください。

あとがき

この「学修行動・学修成果アンケート調査」は、本学が全学統一的に実施したのは4年前の第1回に続いて、今年度が4回目である。

実施したのが卒業時期の3月下旬から新学期始まって早々の4月であり、折悪しくも、4年前に引き続いての新型コロナウイルス感染拡大防止のために、学内外の各行事の中止、延期、縮小等の措置を余儀なくされていた時期であった。アンケート回答は、こうした学事上の各種説明会やガイダンス等の合間を縫っておこなわれた。

年度末から新学期早々の慌ただしさに加えて、こうした緊迫した時期に、アンケートに快く協力していただいた学生の皆さんに御礼申し上げたい。

本アンケートは、学修行動と学修成果の2つの側面について、設問数も約50問の多岐に亘っているが、かなり率直な意見、感想を寄せていただいた。今後、これらを教育、学修環境の改善・充実にこれを有効に活かさなければならないと考える。

なお、本報告書の作成にあたって、昨年度に続いてデータの整理、図表化は本学の情報処理メディアセンターにおいて処理した。これらのデータは、弘前学院大学IR室において管理・運用される。

(大学FD委員会委員長 藁科勝之)

2023（令和5）年度 弘前学院大学 「学修行動・学修成果アンケート調査」実施結果報告書
編集・発行 弘前学院大学：大学FD委員会 弘前学院大学 〒036-8577 弘前市大字稔町13-1 電話 0172-34-5211（代）FAX 0172-32-8768
2024（令和6）年6月21日 発行